

流域治水プロジェクト

- ・常願寺川 P 1～
- ・神通川 P 9～
- ・庄川 P 18～
- ・小矢部川 P 26～

常願寺川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～急流河川特有の洪水防御と流域治水対策の推進～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、常願寺川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 常願寺川流域は、富山県の経済・社会の中心地域となっている反面、「我が国屈指の急流河川」「土砂流出の著しい河川」であり、洪水流のエネルギーが非常に大きく、中小洪水でも堤防が侵食し、決壊する危険がある。一度氾濫すると氾濫流は、拡散して広がり広範囲に被害がおよぶ等の水害リスクの高い地域である。
- このため、急流河川対策(護岸整備)や浸透対策、砂防、森林整備・治山対策、利水ダムによる事前放流の実施、防災指針策定、洪水等リスクの現地表示やタイムラインといったツールによる水害リスクの周知等を実施する。
- これらの取り組みにより、国管理区間においては、戦後最大の昭和44年洪水と同規模の洪水が発生しても家屋浸水を防止し、流域における浸水被害の軽減を図る。



水防災教育(出前講座の活用)

富山河川国道事務所、富山市、舟橋村



マイ・タイムラインの作成及び普及

【みんなでタイムラインプロジェクト】
富山河川国道、黒部河川、北陸技術事務所が合同で取組んでいる。



富山県、舟橋村、滑川市、上市町においても普及のための取組みを実施

■ 泛濫ができるだけ防ぐ・減らすための対策

- 急流河川対策(護岸)、堤防強化(浸透対策)、堤防整備、河道掘削、霞堤の保全
- 砂防関係施設の整備
- 森林整備、治山対策
- 利水ダム8ダムにおける事前放流等の実施・体制構築(関係者:国、富山県、北陸電力(株)等)
- 準用河川の河道拡幅
- 開発行為における雨水貯留施設整備への助成

■ 被害対象を減少させるための対策

- 立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取り組み(防災指針策定など)
- 多段階な浸水リスク情報の充実

砂防関係施設の整備



立山砂防事務所、富山県

森林整備・治山対策



富山森林管理署、富山水源林整備事務所
富山県

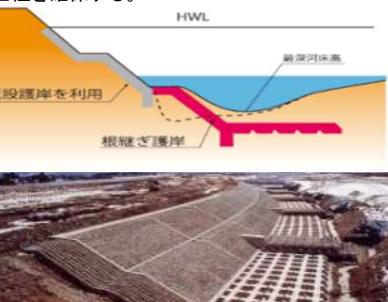
■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 洪水等リスクの現地表示
- 浸水実績の周知
- 避難訓練への住民参加促進
- 排水ポンプ車の出動要請の連絡体制整備
- 水防災教育(出前講座の活用)
- マイ・タイムラインの作成及び普及
- 要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び支援
- 災害情報普及支援
- ・浸水被害軽減対策
- ・水位計・監視カメラの活用
- ・水害リスク空白域の解消

● グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ

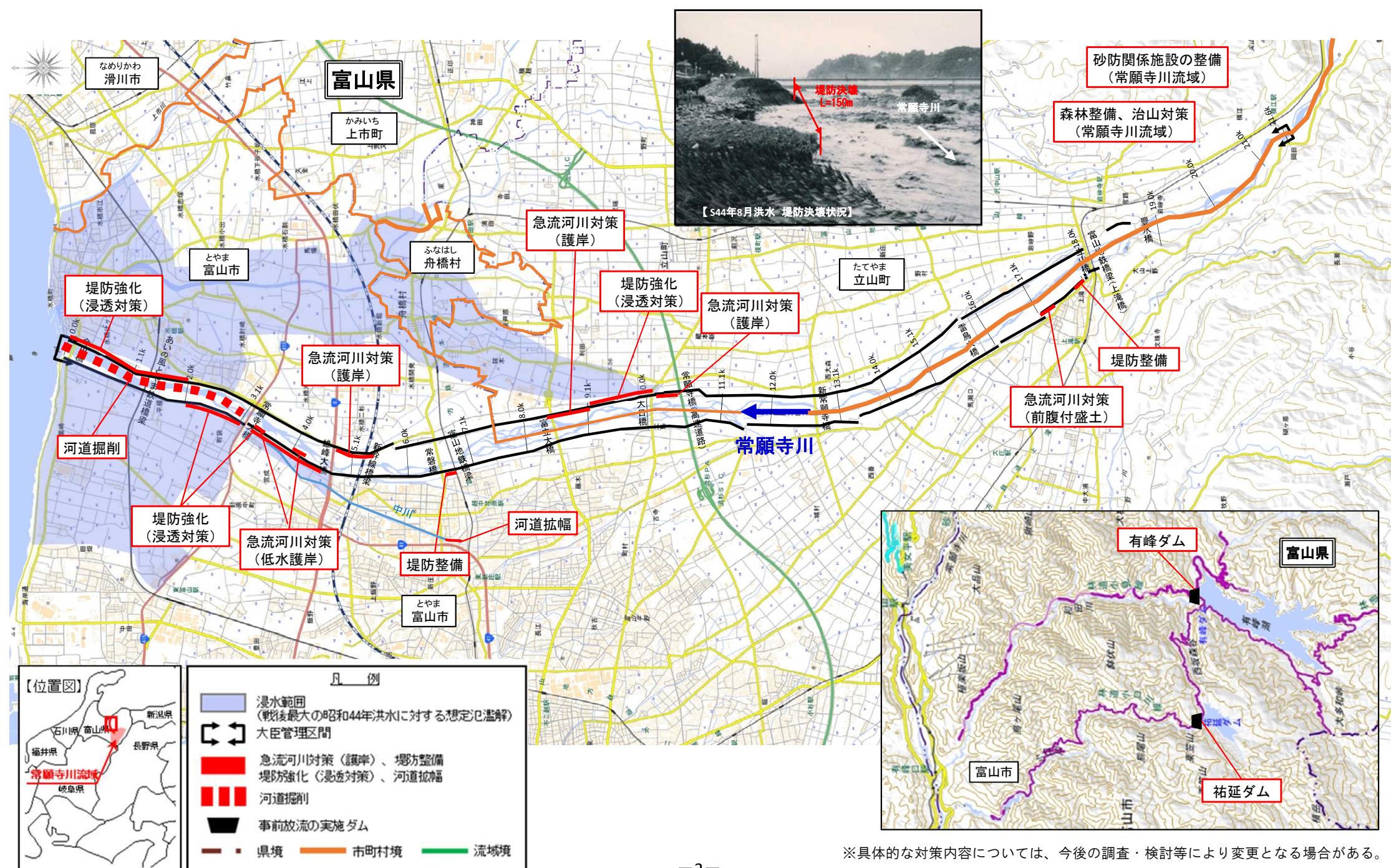
急流河川対策

急流河川特有の洪水エネルギーに対し、堤防の安全性を確保する。



常願寺川水系流域治水プロジェクト【詳細図】

～急流河川特有の洪水防御と流域治水対策の推進～



常願寺川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～急流河川特有の洪水防御と流域治水対策の推進～

常願寺川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】国管理区間において常願寺川左岸上・下流部および右岸中流部において急流河川特有の流水の強大なエネルギーに対する急流河川対策を完成させる。また、左岸上流部の堤防整備を進める。

併せて、立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」向けた取組、災害リスクの現地表示、マイ・タイムラインの作成及び支援、要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び支援などを実施する。

【中期】常願寺川左右岸下流部において急流河川対策を実施し事業推進を図る。

【中長期】流下能力解消のための河道掘削、堤防整備、堤防強化を図るための対策を実施し、流域全体の安全度向上を図る。

【ロードマップ】

区分	対策内容	実施主体	工 程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流水の強大なエネルギーに対する急流河川対策(護岸)	富山河川国道事務所		▶	
	堤防強化を図るため浸透対策	富山河川国道事務所			▶
	流下能力不足解消のための河道掘削、堤防整備	富山河川国道事務所		▶	▶
	砂防関係施設の整備	立山砂防事務所、富山県		▶	▶
	森林整備、治山対策	富山森林管理署、富山水源林整備事務所、富山県		▶	▶
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)	富山市		▶	立地適正化計画への防災指針の記載と取組など
	多段階な浸水リスク情報の充実	富山河川国道事務所		▶	▶
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	洪水等リスクの現地表示 水位計・監視カメラの活用	富山河川国道事務所、富山県、富山市		▶	▶
	マイ・タイムラインの作成及び普及 要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び普及 避難訓練への住民参加、水防災教育(出前講座の活用)	富山河川国道事務所、富山県、富山市、立山町、舟橋村、滑川市、上市町		▶	▶
グリーンインフラの取組	治水対策における多自然づくり	富山河川国道事務所		▶	▶
	自然豊かな森林づくり	富山森林管理署、富山水源林整備事務所、富山県		▶	▶
	自然環境が有する多様な機能活用の取組み	市町村等		▶	▶

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

【事業規模】

■河川対策

全体事業費 約70億円

■砂防対策

全体事業費 約420億円

常願寺川水系流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】

～急流河川特有の洪水防御と流域治水対策の推進～

●グリーンインフラの取り組み

『破壊と再生により形成してきた多様な河川環境の保全・創出』

- 常願寺川は、河川環境の変動が大きい急流河川であり、白い礫河原とそこに依存する広範なアキグミ群落・カワラハコ群落などの特徴的な河川環境が維持されている。扇状地下流部(雄峰大橋～河口まで)は、抽水植物の豊かな河岸や池、湿地、細流等が形成されており、多くの生物の重要な生息・生育・繁殖環境が存在している。
 - 扇状地下流部の多様な環境と扇状地上流部の破壊と再生により形成されてきた礫河原やアキグミ群落が代表する河川環境の保全・創出を図ることを目指し、今後概ね20年間で多様な河川環境を保全・創出するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。



- ### ●治水対策における多自然川づくり

- #### ・生物の多様な生育環境の保全・創出

- ### ●自然豊かな森林づくり

- ## ・森林整備、治山対策

- #### ●自然環境が有する多様な機能活用の取組み

- ・住民のニーズに応じた多様な利用空間の創造
 - ・小学校などにおける河川環境学習

多自然川づくりのイメージ

【河床掘削の際の考え方】

工事前の赤土を残して

【前腹付け工・根継護岸工の際の考え方】

The diagram illustrates the 'Riverbank Space Forming Process' (河川空間形成プロセス) through several labeled components:

- 大事な樹木は保全・代償を行う** (Large trees are protected or compensated for): A tree icon.
- 工事前の表土は極力保全して、元の植生を早期に回復する** (尽可能保护施工前地表土，早期恢复原有植被): A green slope icon.
- 大きな石は河岸に残して、砂州の回復、植生の復元等、生物の生息に適した多様な水際を形成する** (Leave large stones on the bank to restore sand bars, vegetation, etc., creating diverse water edges suitable for biodiversity): A stone and sand bar icon.
- 人の利用・生物の生息等、環境に応じた河川空間を形成する** (Create riverbank space that suits human use, biological habitat, and environment): A green slope icon.
- 寄州・中州のできる低水路幅を確保する** (Ensure sufficient width for low-water channel areas like floodplains and island areas): A river cross-section icon.
- 必要な箇所には、根縛護岸で河岸を保護する** (Protect the bank in necessary areas using root-restraining revetments): A concrete wall icon.

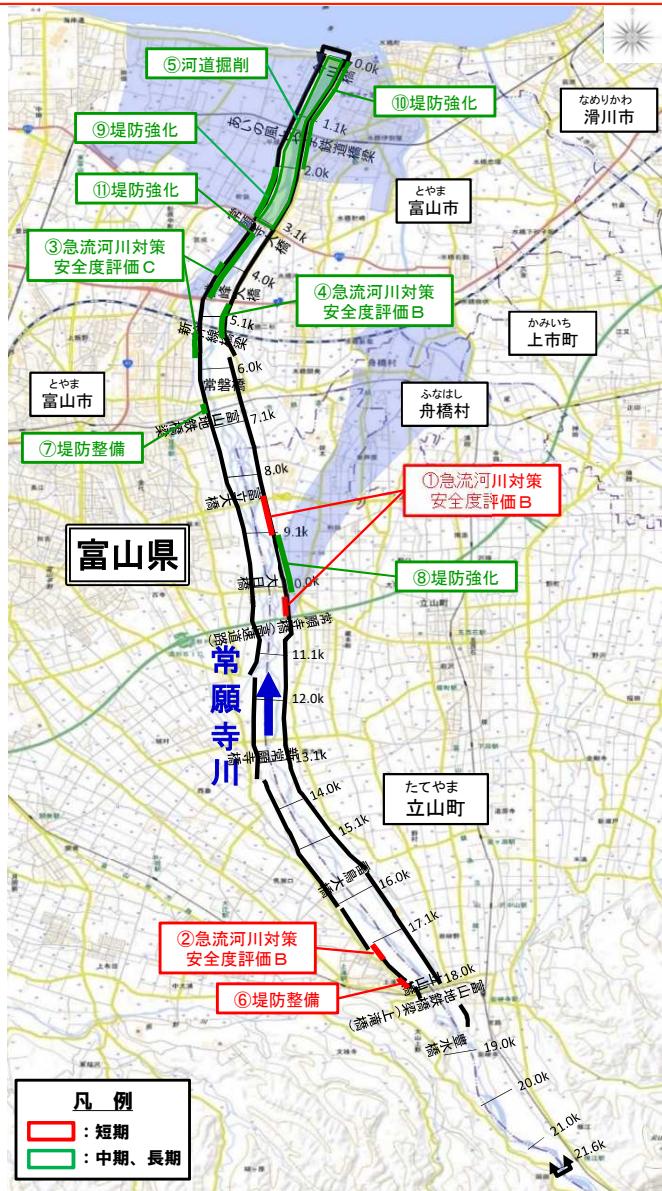
常願寺川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～急流河川特有の洪水防御と流域治水対策の推進～

利田地区、日置地区、上滝地区の急流河川対策及び上滝地区の堤防整備が完了することで中頻度(1/30)の浸水面積に対して約6割(約60%)減少し、富山市街地への浸水被害を軽減することが期待される。

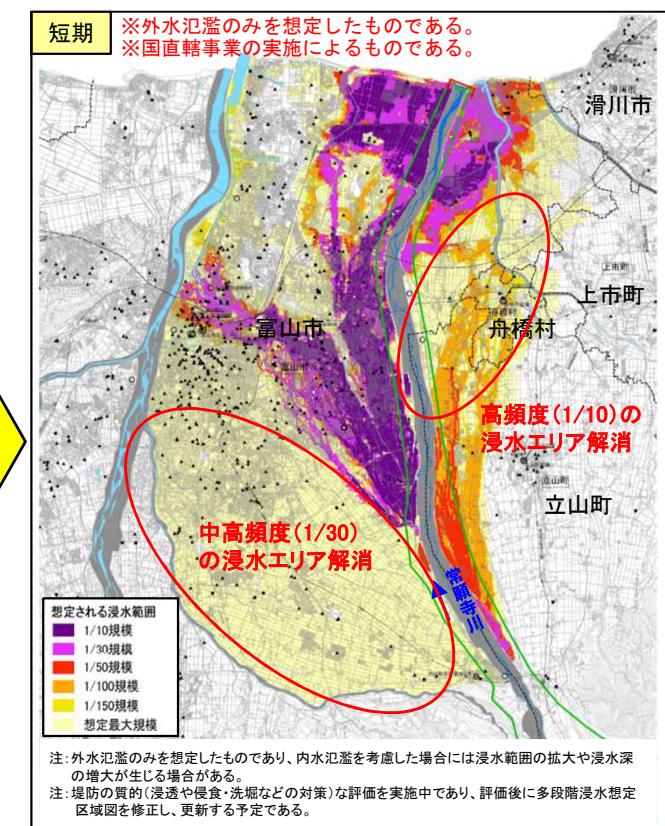
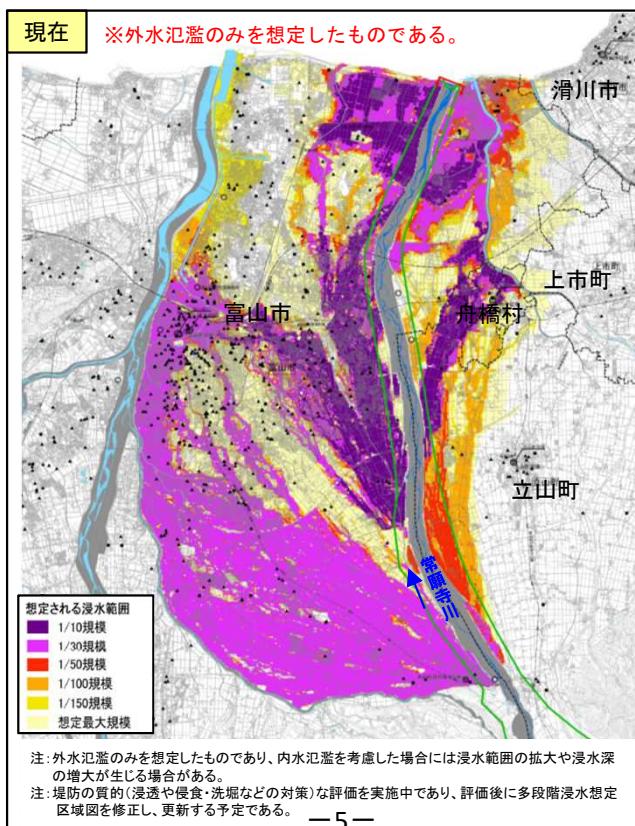
短期整備(5か年加速化対策)効果 :

河川整備率 約86.9%→約86.9%
質的整備率 約55.6%→約59.8%



区分	本支川	対策内容	市町村	区間	工程		
					短期(R3~R7)	中期(R8~R13)	長期(R14~R20)
ぐ・氾濫を できるだけ防 ぐ・減らすための対策	常願寺川	急流河川対策B 被害額大	立山町(利田日置)	①	100%		
		富山市(上滝)		②	100%		
		急流河川対策C 被害額小	富山市(一本木)	③		100%	
		急流河川対策B 被害額小	富山市(芝草)	④		100%	
		河道掘削	富山市(町袋・水橋)	⑤		75%	100%
		堤防整備	富山市(上滝)	⑥	関係機関協議	100%	
			富山市(朝日)	⑦	水防対応(大型土嚢配備等)		関係機関協議(地鉄) 100%
		堤防強化 被害額大	立山町(利田)	⑧		100%	
		堤防強化 被害額中	富山市(町袋)	⑨		100%	
		堤防強化 被害額小	富山市(水橋)	⑩		100%	
			富山市(一本木)	⑪			100%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。



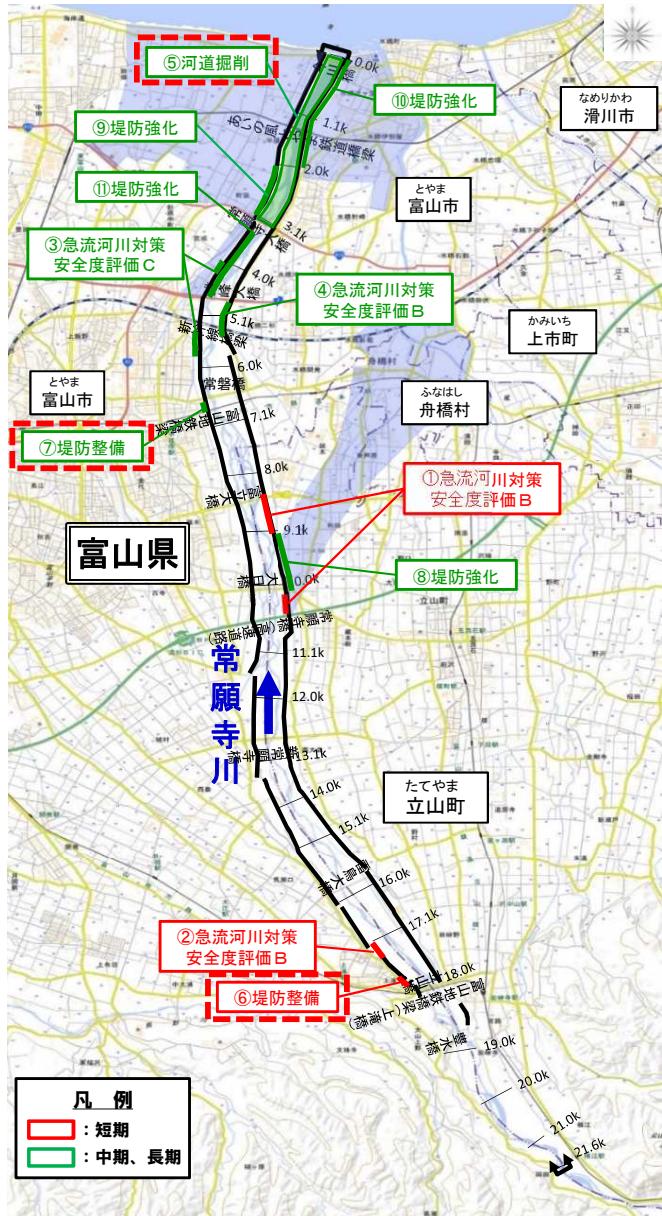
常願寺川水系流域治水プロジェクト【参考資料 量的整備のみの事業効果（国直轄区間）の見える化】

～急流河川特有の洪水防御と流域治水対策の推進～

※ 量的整備とは、洪水時に河川の水を安全に流すため、堤防の嵩上げや河床を掘削するなどの整備である。

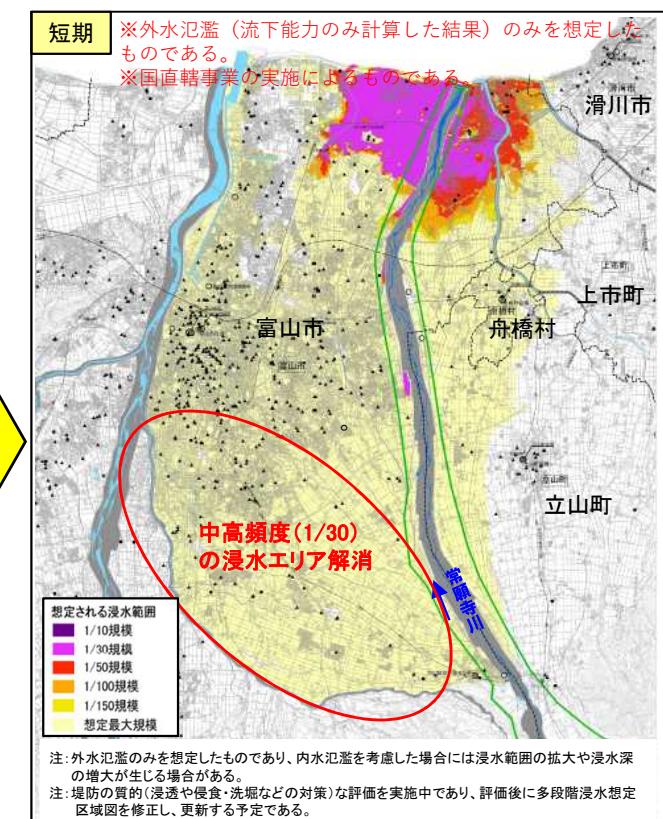
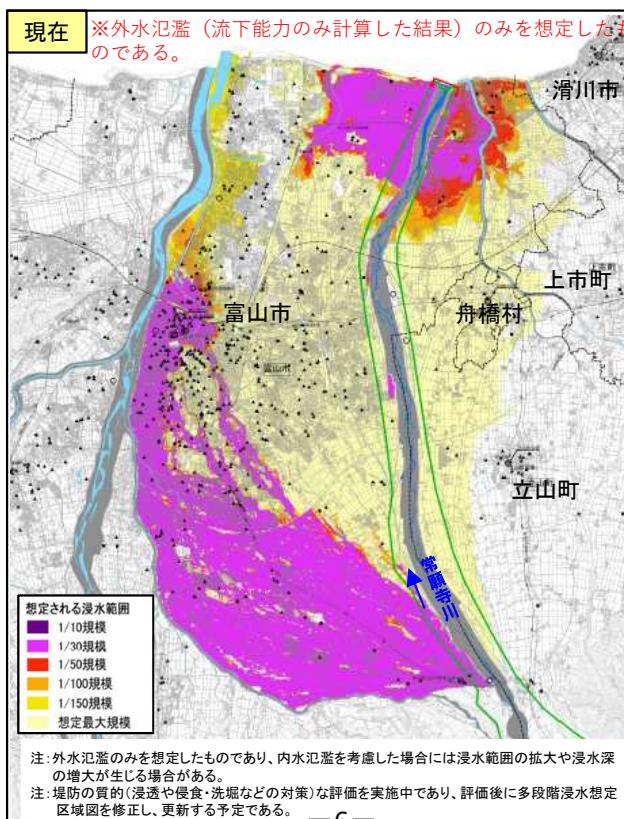
【量的整備】上滝地区の堤防整備の推進。

短期整備(5か年加速化対策)効果： 河川整備率 約86.9%→約86.9%



区分	本支川	対策内容	市町村	区間	工程		
					短期(R3~R7)	中期(R8~R13)	長期(R14~R20)
常願寺川 ～氾濫を減らすための対策	急流河川対策B 被害額大	立山町(利田日置)	①	100%			
		富山市(上滝)	②	100%			
		富山市(一本木)	③		100%		
	急流河川対策B 被害額小	富山市(芝草)	④		100%		
		富山市(町袋・水橋)	⑤		75%	100%	
		富山市(朝日)	⑥	関係機関協議	100%		
	堤防整備	富山市(上滝)	⑦	水防対応(大型土嚻配備等)		関係機関協議(地鉄)	
		立山町(利田)	⑧			100%	
		富山市(町袋)	⑨			100%	
	堤防強化 被害額中	富山市(水橋)	⑩			100%	
		富山市(一本木)	⑪			100%	

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。



注: 外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。

注: 堤防の質的(浸透や侵食・洗堀などの対策)な評価を実施中であり、評価後に多段階浸水想定区域図を修正し、更新する予定である。

注: 外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。

注: 堤防の質的(浸透や侵食・洗堀などの対策)な評価を実施中であり、評価後に多段階浸水想定区域図を修正し、更新する予定である。

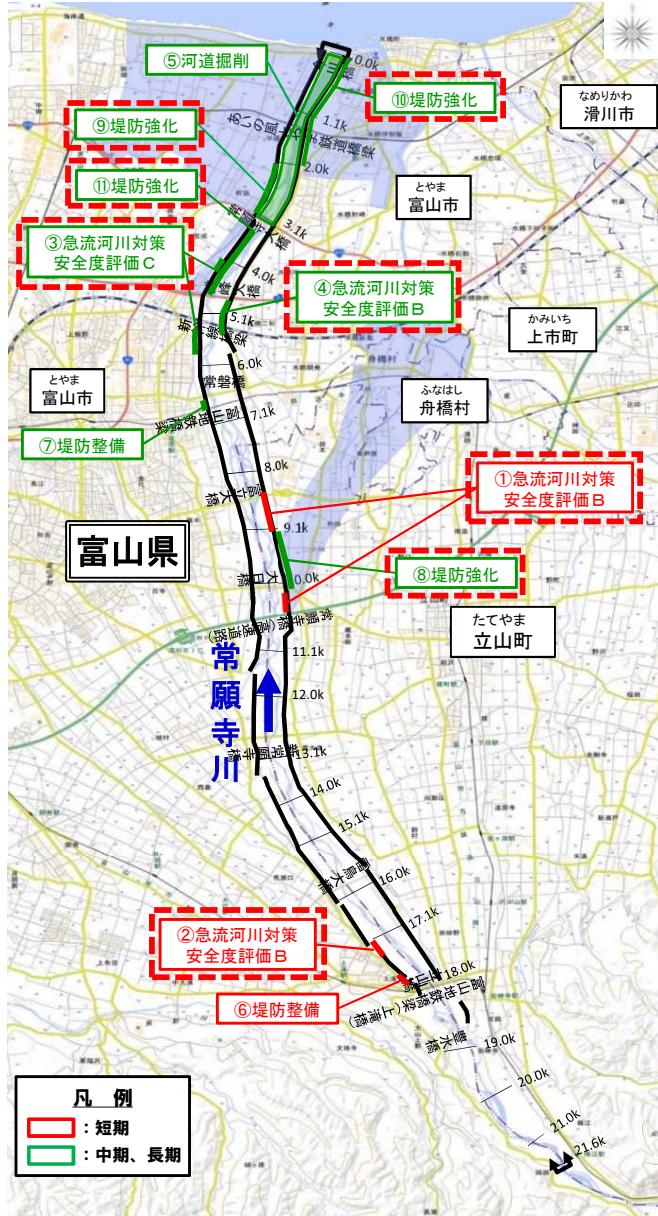
常願寺川水系流域治水プロジェクト【参考資料 質的整備のみの事業効果（国直轄区間）の見える化】

～急流河川特有の洪水防御と流域治水対策の推進～

※質的整備とは、浸透や侵食から堤防を守るため、堤防自身を強化するための整備のことである。

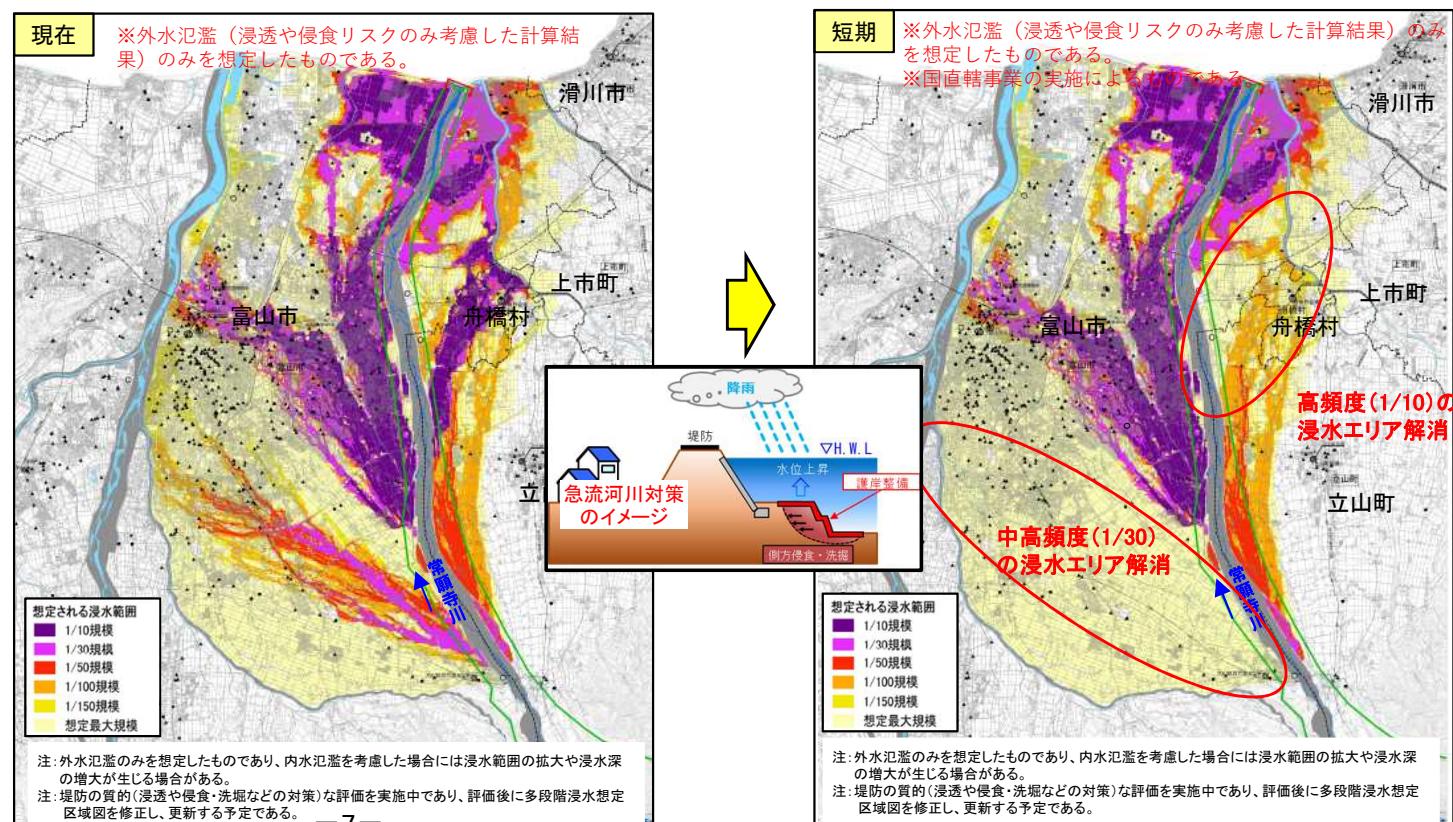
【質的整備】利田地区、日置地区、上滝地区の急流河川対策の推進。

短期整備(5か年加速化対策)効果 :
質的整備率 約55.6%→約59.8%



区分	本支川	対策内容	市町村	区間	工 程		
					短期(R3~R7)	中期(R8~R13)	長期(R14~R20)
常願寺川	常願寺川	急流河川対策B 被害額大	立山町(利田日置)	①	100%		
		急流河川対策C 被害額小	富山市(上滝)	②	100%		
		急流河川対策B 被害額小	富山市(一本木)	③		100%	
常願寺川	河道掘削	常願寺川	富山市(芝草)	④		100%	
		河道掘削	富山市(町袋・水橋)	⑤		75%	100%
		堤防整備	富山市(上滝)	⑥	関係機関協議 100%		
常願寺川	堤防整備	堤防強化 被害額大	富山市(朝日)	⑦	水防対応(大型土堀配備等)	関係機関協議(地鉄)	
		堤防強化 被害額中	立山町(利田)	⑧		100%	
		堤防強化 被害額小	富山市(町袋)	⑨		100%	
		堤防強化 被害額小	富山市(水橋)	⑩		100%	
		堤防強化 被害額小	富山市(一本木)	⑪		100%	

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。



常願寺川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～急流河川特有の洪水防御と流域治水対策の推進～



氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

[準用河川中川の改修(富山市)]



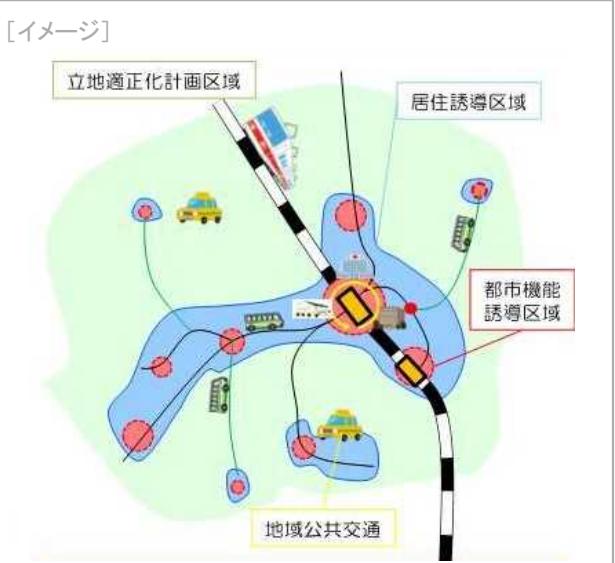
浸水状況(H20.8)



準用河川中川においては、河川の断面不足などにより浸水被害が多発しており、河積を確保し洪水被害の解消を行うことにより、治水機能の向上を図る。

被害対象を減少させるための対策

[立地適正化計画における防災指針策定 (富山市)]



立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組

富山市は、急流河川である常願寺川と神通川が流下している特性から、氾濫流は拡散するため居住誘導区域の多くが浸水想定エリアに含まれる。

今後も居住の誘導を図り、都市のコンパクト化を進めるためには、防災性の向上が必要。

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

[要配慮者利用施設の避難計画の作成 及び訓練の促進(富山県河川課)]



水防災教育講座(富山県河川課)

高齢者福祉施設等の要配慮者利用施設における水害時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、市町村が開催する施設管理者向け講習会への講師派遣等により、避難確保計画の作成や避難訓練の実施を支援する。

【取組実績】

- ・令和3年度:富山市にて講習会
- ・県内の要配慮者利用施設1553施設中875施設(56.3%)で計画を作成済み(R3.09.30時点)

神通川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～上流・下流が一体となった浸水被害解消のための流域治水対策の推進～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、神通川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 神通川流域は、富山県の経済・社会の中心地域となっている反面、「我が国屈指の急流河川」であることから、洪水流のエネルギーが非常に大きく、中小洪水でも堤防が侵食し、決壊する危険がある。また、熊野川合流点付近から下流区間においては、堤防断面が不足するなど流下能力が不足しており、一度氾濫すると氾濫流は拡散して広がり、広範囲に被害がおよぶ等の水害リスクの高い地域である。
- このため、急流河川対策(護岸整備)や堤防整備、河道掘削、調整池整備、砂防、森林整備・治山対策、利水ダムによる事前放流の実施、水田貯留、防災指針策定、洪水等リスクの現地表示やタイムラインといったツールによる水害リスクの周知等を実施する。
- これらの取り組みにより、国管理区間においては、戦後最大の平成16年洪水と同規模の洪水が発生しても家屋浸水を防止し、流域における浸水被害の軽減を図る。

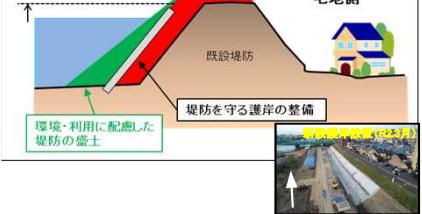
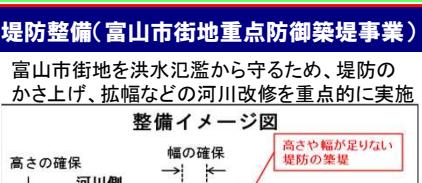


- 氾濫ができるだけ防ぐ・減らすための対策**
- 急流河川対策(護岸)、堤防整備、堤防強化(浸透対策)、河道掘削、許可工作物の改築、護岸整備、河道拡幅、樹木伐採、橋梁改築、調節池整備、大島ダム整備(検証中)、霞堤の保全
 - 砂防関係施設の整備
 - 森林整備・治山対策
 - 雨水貯留施設の整備、下水道等の排水施設の整備
 - 利水ダム等21ダムにおける事前放流等の実施、体制構築(関係者:国、富山県、岐阜県、北陸電力(株)、関西電力(株)等)
 - 準用河川の河道拡幅
 - 水田貯留

- 被害対象を減少させるための対策**
- 立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取り組み(防災指針策定など)
 - 多段階な浸水リスク情報の充実

- 被害の軽減、早急復旧・復興のための対策**
- 洪水等リスクの現地表示、浸水実績の周知
 - 洪水ハザードマップの作成・配布
 - 避難訓練への住民参加促進、水防資材の配布
 - 排水ポンプ車の出動要請の連絡体制整備
 - 水防災教育(出前講座の活用)、マイ・タイムラインの作成及び普及
 - 要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び支援
 - 広域避難計画の検討・土砂災害警戒区域等の指定・周知
 - 水位計・監視カメラの活用・水害リスク空白域の解消

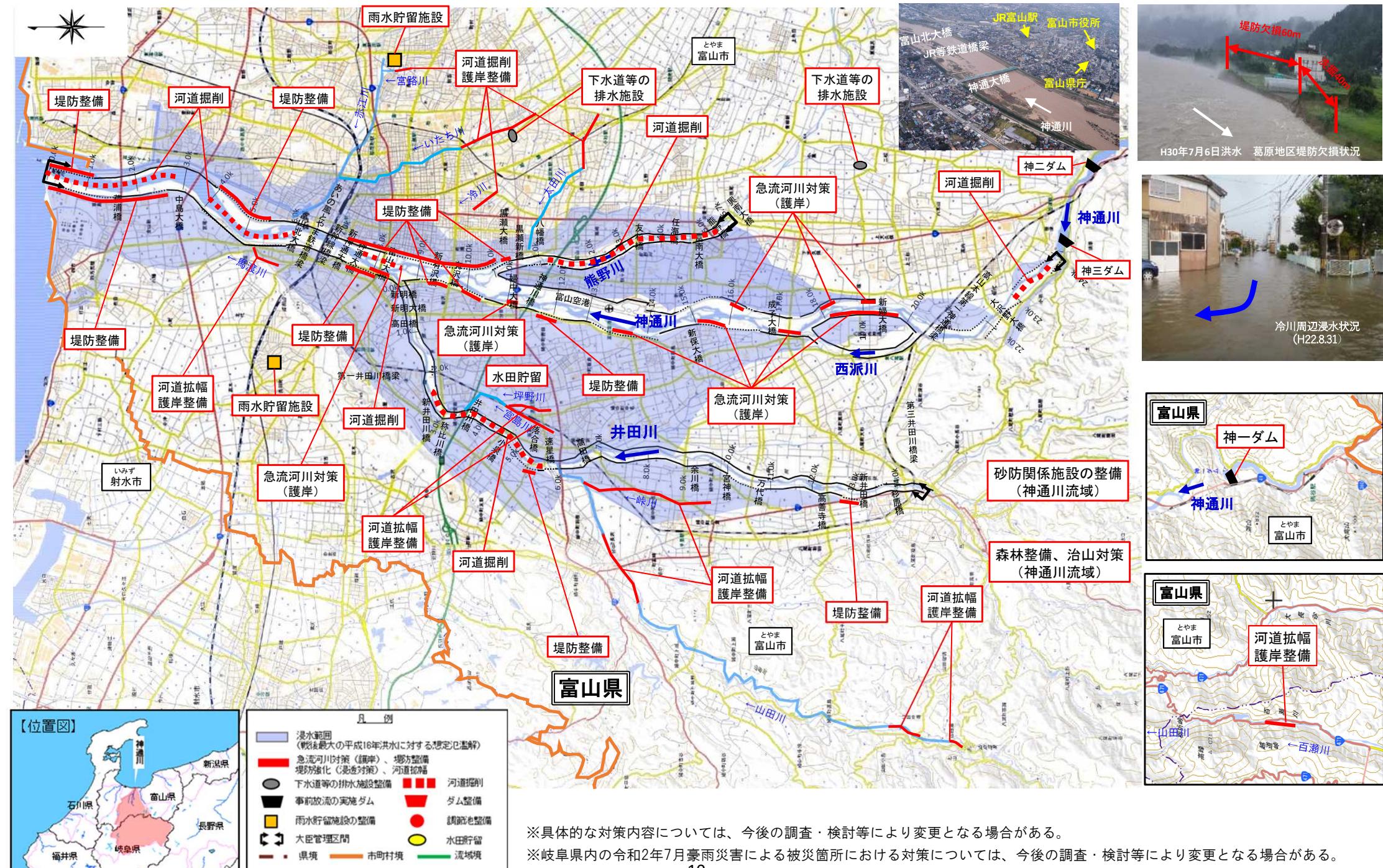
●グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

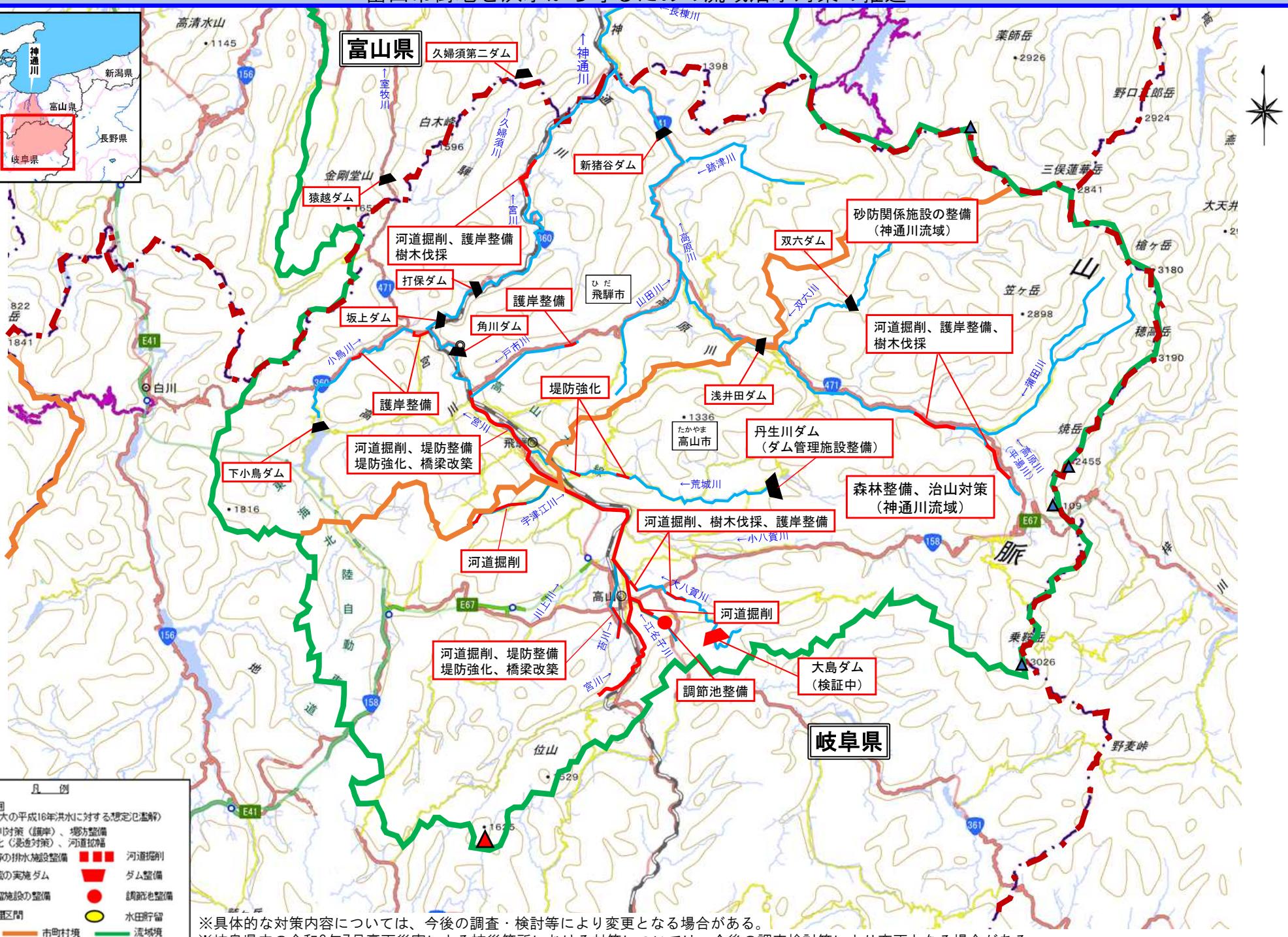
神通川水系流域治水プロジェクト【富山県内詳細図】

～富山市街地を洪水から守るためにの流域治水対策の推進～



神通川水系流域治水プロジェクト【岐阜県内詳細図】

～富山市街地を洪水から守るために流域治水対策の推進～



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある

※岐阜県内の令和2年7月豪雨災害による被災箇所における対策については、令後の検査検討等により変更となる場合がある

神通川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～上流・下流が一体となった浸水被害解消のための流域治水対策の推進～

神通川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】国管理区間における神通川右岸中流部において、富山市街地重点防御築堤事業の堤防整備を完成させるとともに、左岸上流部の急流河川対策を完成させることで富山市街地を保全する。

併せて、立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組、洪水ハザードマップの配布、マイ・タイムラインの作成及び支援、要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び支援などを実施する。

【中期】左岸中流部における急流河川対策及び本川右岸下流部の堤防整備を完成させる。また、井田川において流下能力不足解消のための堤防整備を促進させる。

【中長期】井田川の堤防整備を完了させるとともに、本川右岸上流部の急流河川対策及び熊野川の堤防整備等に着手し、流域全体の安全度向上を図る。

【ロードマップ】

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らす ための対策	流下能力不足解消のための堤防整備(富山市街地重点防御築堤事業等)、河道掘削を行い富山市街地を守る	富山河川国道事務所			
	流水の強大なエネルギーに対する急流河川対策	富山河川国道事務所			
	流下能力不足解消のための河道拡幅、護岸整備、河道掘削など	富山県、岐阜県			
	砂防関係施設の整備	神通川水系砂防事務所、富山県、岐阜県			
	森林整備、治山対策	富山及び飛騨森林管理署、富山及び岐阜水源林整備事務所、富山県、岐阜県			
	雨水貯留施設の整備、下水道等の排水施設の整備	富山市			
被害対象を減少 させるための対策	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)	富山市	立地適正化計画への防災指針の記載と取組など		
	多段階な浸水リスク情報の充実	富山河川国道事務所			
被害の軽減、 早期復旧・復興 のための対策	洪水ハザードマップの作成・配布 洪水等リスクの現地表示、水位計・監視カメラの活用	富山河川国道事務所、富山県 岐阜県、富山市、飛騨市			
	マイ・タイムラインの作成及び普及 要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び普及 避難訓練への住民参加、水防災教育(出前講座の活用)	富山河川国道事務所、富山県、岐阜県、富山市、高山市、飛騨市			
グリーンインフラの 取組	自然環境の保全・復元などの自然再生	富山河川国道事務所、岐阜県			
	治水対策における多自然川づくり	富山河川国道事務所、富山県、岐阜県			
	自然豊かな森林づくり	富山及び飛騨森林管理署、富山及び岐阜水源林整備事務所、富山県、岐阜県			
	自然環境が有する多様な機能活用の取組み	市町村等			

気候変動を
踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

【事業規模】

■河川対策

全体事業費 約828億円

■砂防対策

全体事業費 約444億円

■下水道対策

全体事業費 約39億円

神通川水系流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】

～上流・下流が一体となった浸水被害解消のための流域治水対策の推進～

●グリーンインフラの取り組み 『サクラマス等を育む神通川本来の豊かな河川環境の再生』

- ▶ 神通川は、富山市内を流れる富山県下最大の一級河川であり、地域住民の憩いの場として親しまれている。その一方で、神通川を代表する魚として知られているサクラマスが減少するなど、神通川水系の豊かな自然環境の一部が失われつつある。
- ▶ サクラマス等を育む神通川本来の豊かな河川環境を再生するため、今後概ね30年間で環境教育の促進などにより地域との関係強化を図りつつ、水際環境の創出によるサクラマス等の生息環境の再生をするなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。



凡 例	
大臣管理区間	
■ 急流河川対策（護岸）、護岸整備、河道拡幅	
■■■ 河道掘削	
■■ 治水メニュー	■ GIメニュー



●自然環境の保全・復元などの自然再生

- ・サクラマスなどの生息環境の創出
- ・連続性の回復(魚道の点検・機能維持)

●治水対策における多自然川づくり

- ・生物の多様な生育環境の保全・創出

●自然豊かな森林づくり

- ・森林整備、治山対策

●自然環境が有する多様な機能活用の取組み

- ・住民のニーズに応じた多様な利用空間の創造
- ・小学校などにおける河川環境学習
- ・大学などとの協働による幼魚の生育・生息場の整備

地元大学などとの協働による幼魚の生育・生息場の整備(NPO、大学、研究機関、漁協、河川管理者等)



サクラマスなどの生息環境の創出(多自然流路)



連続性の回復(魚道の点検・機能維持)

約180名の県民をフィッシュウェイ・サポーターに委嘱し、魚道カルテを用いて点検を実施。その結果に基づき修繕・改修を行っている。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

県境

市町村境

流域境

神通川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～上流・下流が一体となった浸水被害解消のための流域治水対策の推進～

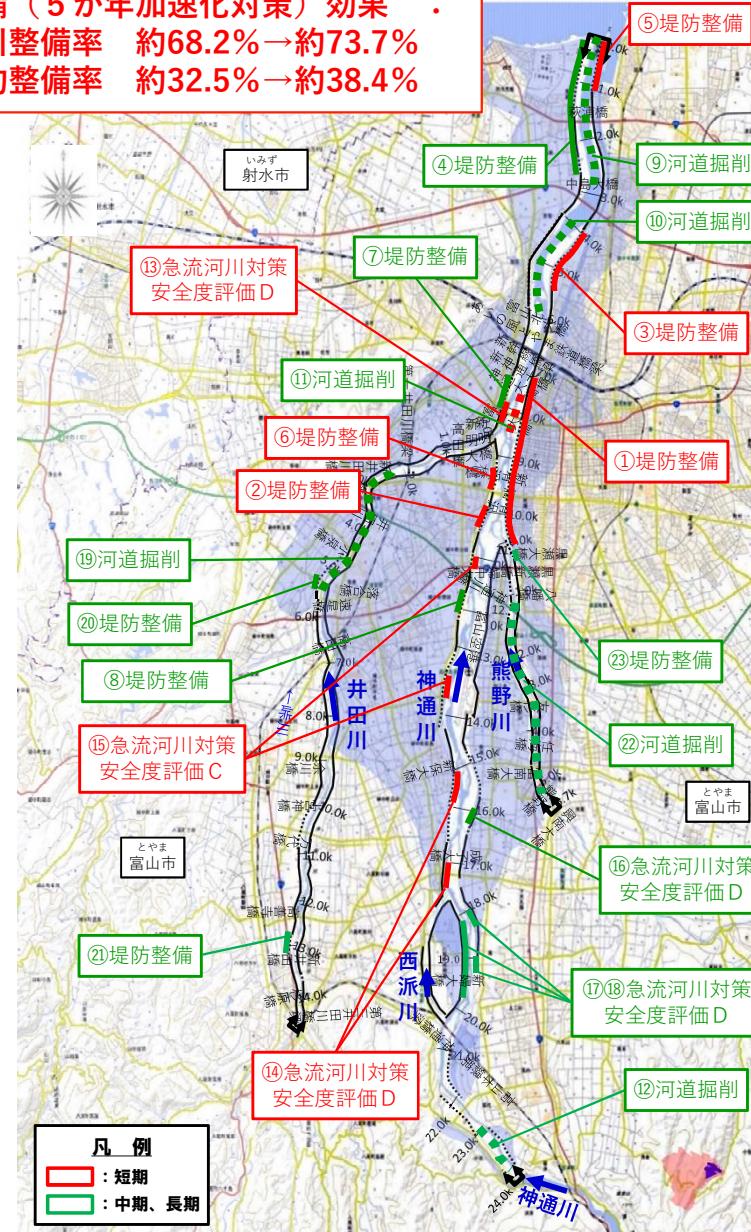
安野屋地区、有沢地区、牛島地区、岩瀬地区の築堤工事（高さ対策）が完了することにより、堤防強化が図られる。

成子地区、五福地区、添島地区の急流河川対策が完了することで、神通川左岸の堤防の侵食決壊による浸水被害を低減することが可能

短期整備（5か年加速化対策）効果：

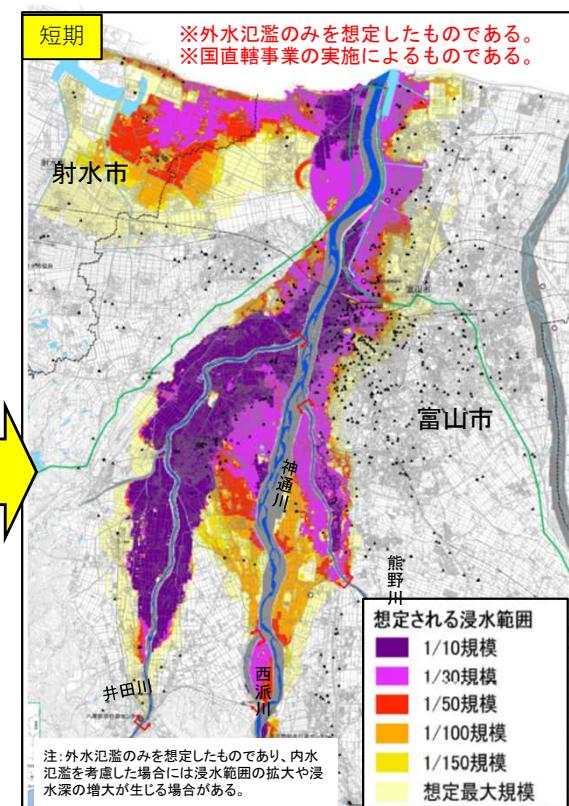
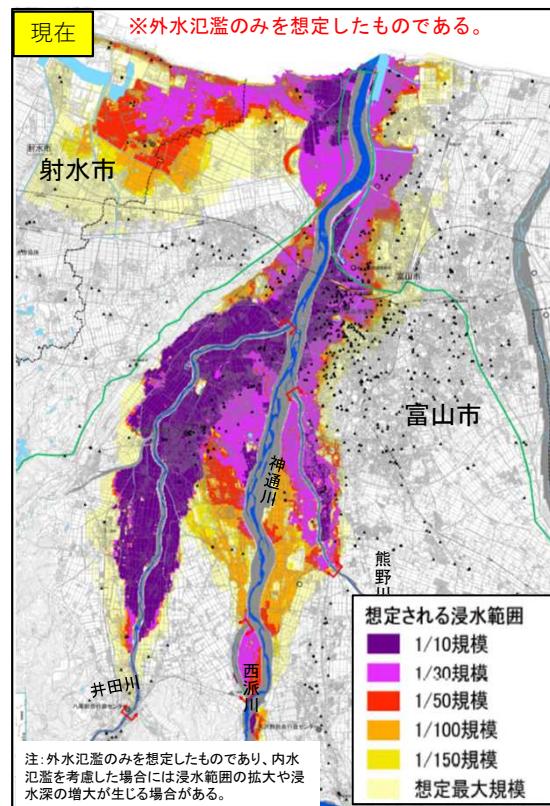
河川整備率 約68.2%→約73.7%

質的整備率 約32.5%→約38.4%



区分	本支川	対策内容	市町村	区間	工 程		
					短期(R3~R7)	中期(R8~R14)	長期(R15~R28)
△氾濫をさけるだけ防 災減らすための対策	神通川	堤防整備(嵩上げ)	富山市(安野屋)	①	100%		
			富山市(有斐川上流)	②	100%		
			富山市(牛島)	③	100%		
			富山市(草薙)	④	60%	100%	
			富山市(岩瀬)	⑤	100%		
		堤防整備(拡幅)	富山市(者沢下流)	⑥	25%	100%	
			富山市(五福)	⑦		100%	
			富山市(添島)	⑧		100%	
		河道掘削	富山市(草薙)	⑨	80%	100%	
			富山市(田代屋)	⑩		100%	
			富山市(五福・安野屋)	⑪		100%	
			富山市(葛原)	⑫			100%
		急流河川対策D 堤防組立	富山市(五福)	⑬	100%		
			富山市(成子)	⑭	0%		
		急流河川対策C 堤防組立	富山市(添島)	⑮	100%		
			富山市(新保)	⑯	25%	100%	
		急流河川対策D 堤防組立	富山市(大久保)	⑰		100%	
			富山市(中津通)	⑱			100%
区分	本支川	対策内容	市町村	区間	工 程		
					短期(R3~R7)	中期(R8~R14)	長期(R15~R28)
△ 泛濫をさけるだけ防 災減らすための対策	井手川	河道掘削	富山市(小舟)	⑲		100%	
			富山市(小舟)	⑳		100%	
		堤防整備	富山市(高音寺)	㉑		25%	100%
			富山市(黒瀬・熊野)	㉒			100%
△ 泛濫をさけるだけ防 災減らすための対策	熊野川	河道掘削	富山市(黒瀬)	㉓			100%
			富山市(添島)	㉔			100%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある



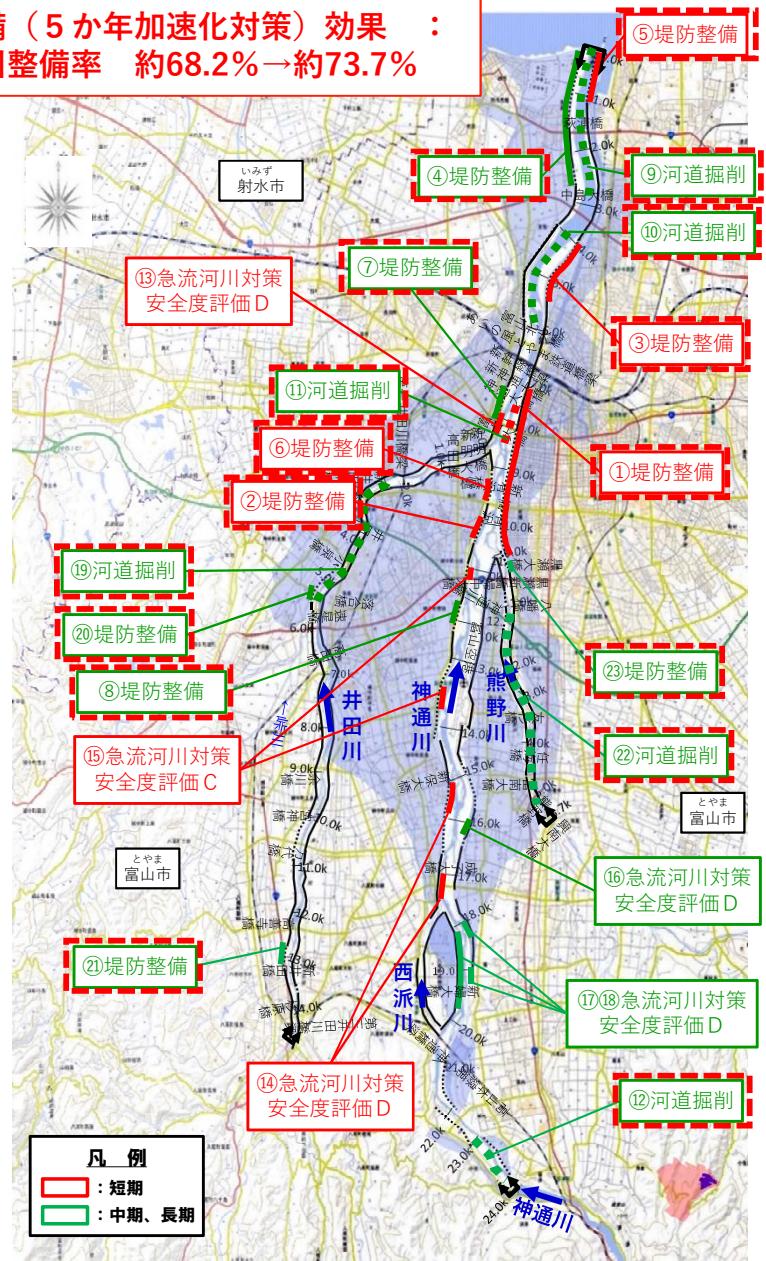
神通川水系流域治水プロジェクト【参考資料 量的整備のみの事業効果（国直轄区間）の見える化】

～上流・下流が一体となった浸水被害解消のための流域治水対策の推進～

※量的整備とは、洪水時に河川の水を安全に流すため、堤防の嵩上げや河床を掘削するなどの整備である。

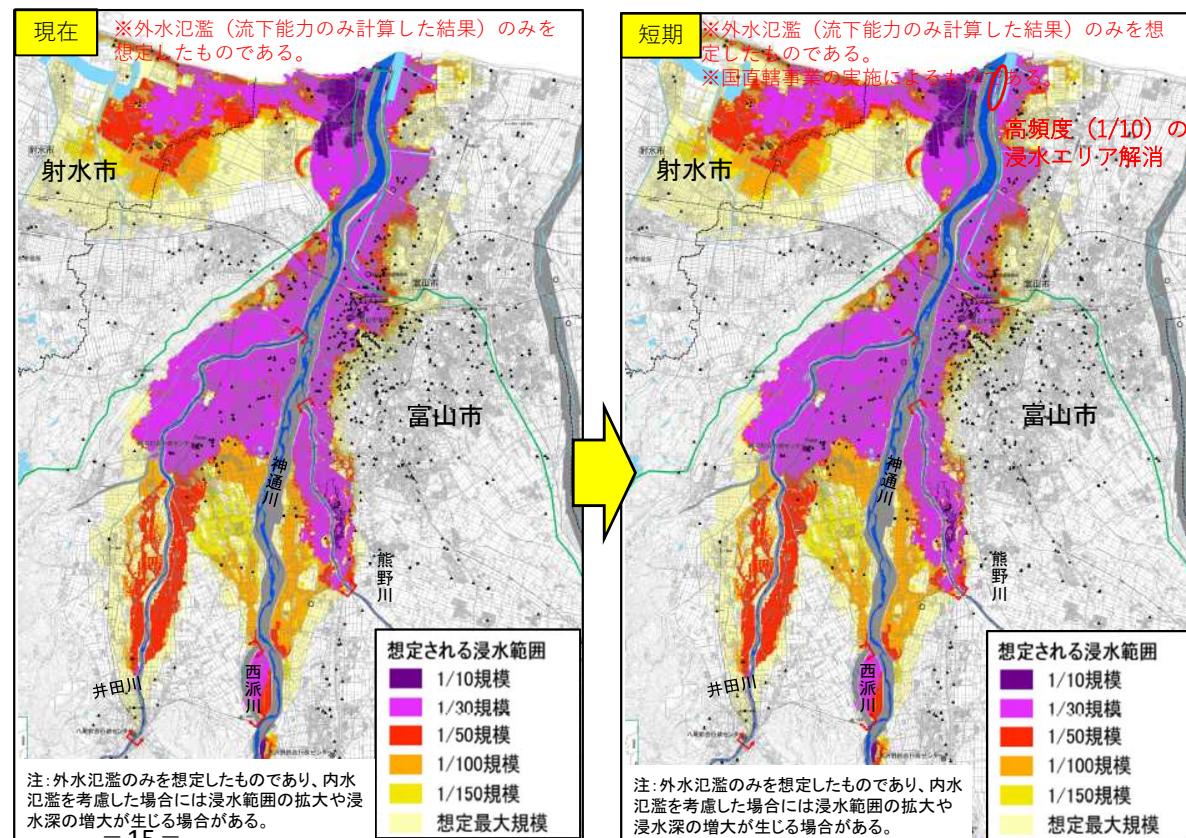
【量的整備】 安野屋地区、有沢地区、牛島地区、岩瀬地区の堤防整備及び草島地区の河道掘削の推進。

短期整備（5か年加速化対策）効果：
河川整備率 約68.2%→約73.7%



区分	本支川	対策内容	市町村	区間	工程		
					短縮(23~P23)	中期(P8~P14)	長期(P15~P28)
ぐ・丸・減らさずきるための対策	神通川	富山市(安野屋)	①	100%	100%		
		富山市(有沢上流)	②	100%	100%		
		富山市(牛島)	③	100%	100%		
		富山市(草島)	④	80%	100%		
		富山市(岩瀬)	⑤	100%			
	堤防整備(岸上)	富山市(有沢下流)	⑥	25%	100%		
		富山市(五幡)	⑦		100%		
		富山市(洛島)	⑧		100%		
	河道掘削	富山市(草島)	⑨	82%	100%		
		富山市(田刈屋)	⑩		100%		
急流河川対策	富山市(庄内・安野屋)	⑪		100%			
	富山市(葛原)	⑫		100%			
	急流河川対策D 井田川	富山市(五幡)	⑬	100%			
	急流河川対策C 井田川	富山市(成子)	⑭	100%			
	急流河川対策D 熊野川	富山市(添島)	⑮	100%			
	急流河川対策C 熊野川	富山市(新東)	⑯	25%	100%		
	急流河川対策D 熊野川	富山市(大久保)	⑰		100%		
井 田 川	河道掘削	富山市(中津通)	⑲		100%		
	堤防整備	富山市(小泉)	⑳		100%		
	堤防整備	富山市(高善寺)	㉑		100%		
	堤防整備	富山市(黒瀬・熊野)	㉒		100%		
熊 野 川	堤防整備	富山市(黒瀬)	㉓		100%		

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。



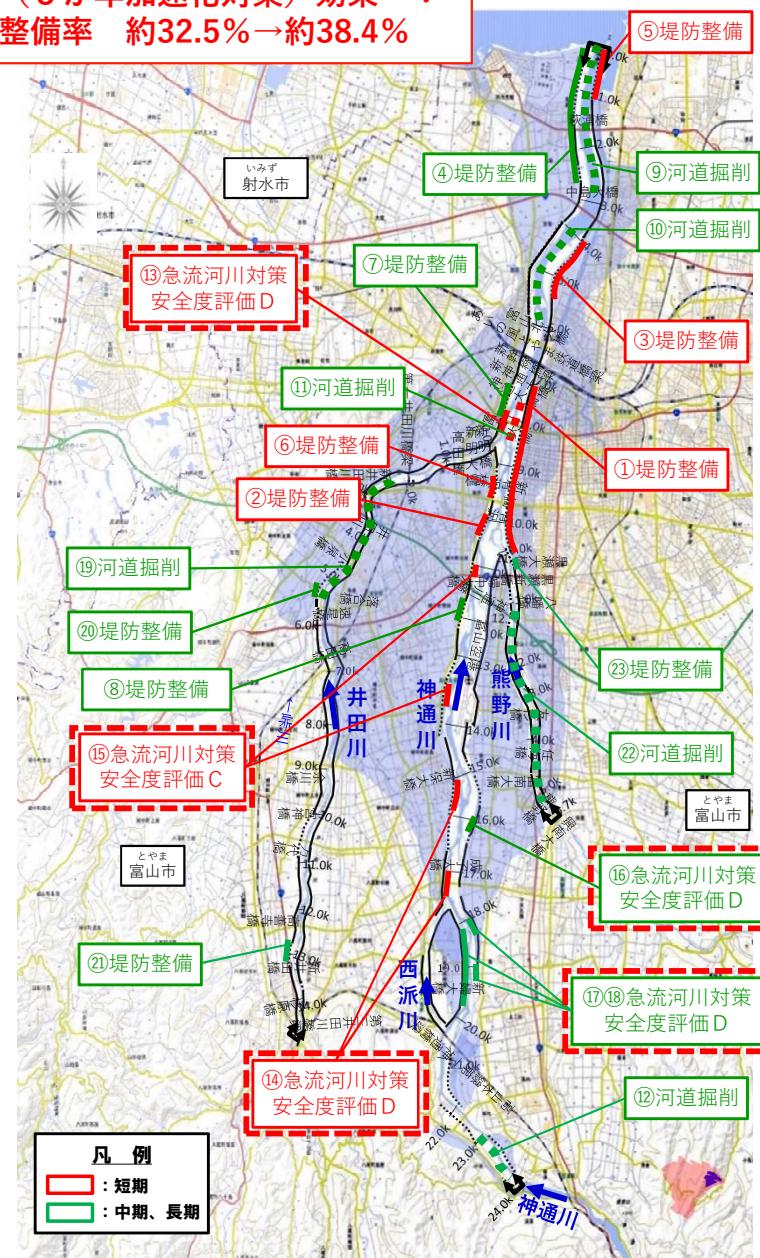
神通川水系流域治水プロジェクト【参考資料 質的整備のみの事業効果（国直轄区間）の見える化】

～上流・下流が一体となった浸水被害解消のための流域治水対策の推進～

※質的整備とは、浸透や侵食から堤防を守るため、堤防自身を強化するための整備のことである。

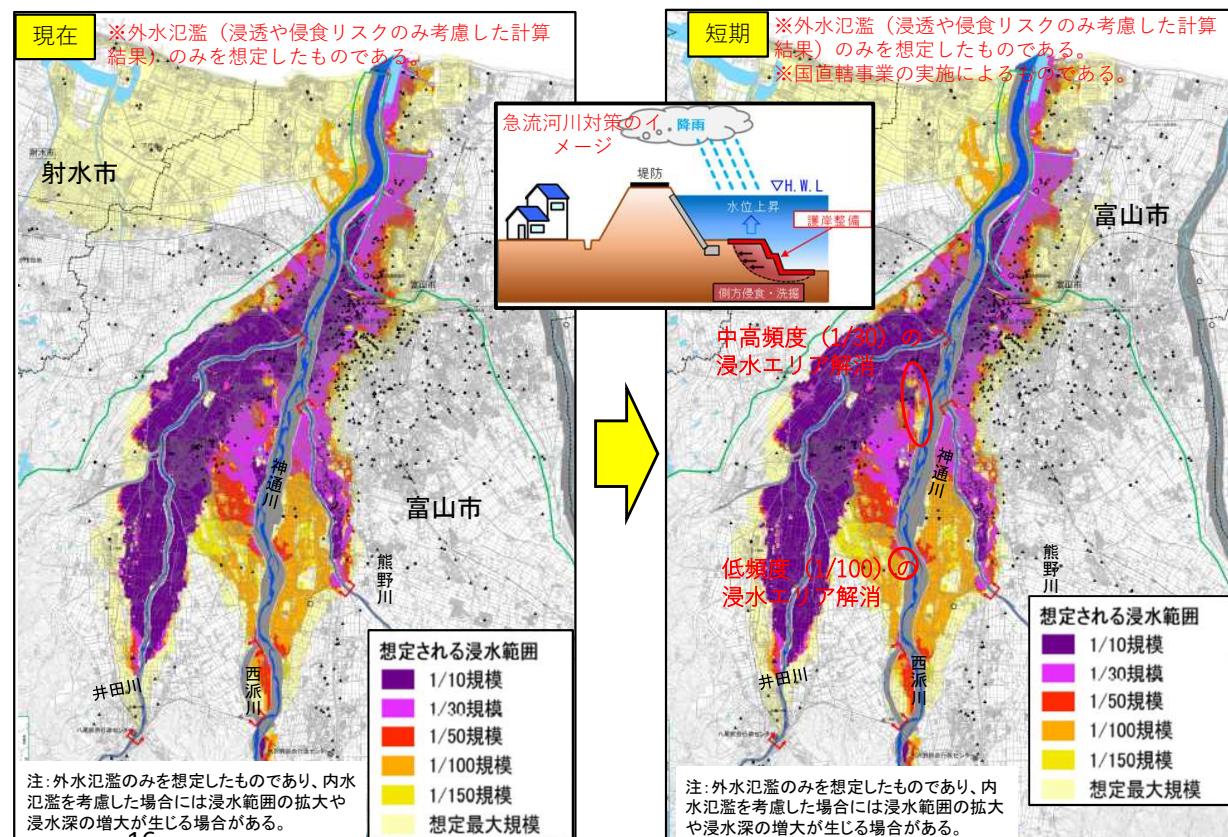
【質的整備】成子地区、五福地区、添島地区の急流河川対策の推進。

短期整備（5か年加速化対策）効果：
質的整備率 約32.5%→約38.4%



区分	本支川	対策内容	市町村	区間	工程		
					短期(R3~R7)	中期(R8~R14)	長期(R15~R28)
△ 計画段階 堤防整備(嵩上げ)	神通川	富山市(安野屋)	①	100%			
		富山市(者沢上流)	②	100%			
		富山市(牛島)	③	50%	50%		
		富山市(草島)	④	80%	100%		
		富山市(岩瀬)	⑤	100%			
	堤防整備(抜幅)	富山市(者沢下流)	⑥		25%	100%	
		富山市(五福)	⑦			100%	
		富山市(添島)	⑧			100%	
	河道掘削	富山市(草島)	⑨	82%	100%		
		富山市(田刈屋)	⑩			100%	
△ 計画段階 急流河川対策	神通川	富山市(五福)	⑪	100%			
		富山市(成子)	⑫	100%			
		富山市(添島)	⑬	25%	100%		
		富山市(新東)	⑭			100%	
	井田川	富山市(大久保)	⑮			100%	
		富山市(中津通)	⑯			100%	
		富山市(高瀬)	⑰			100%	
	熊野川	富山市(高瀬)	⑱			100%	
		富山市(高瀬)	⑲			100%	

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。



神通川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～上流・下流が一体となった浸水被害解消のための流域治水対策の推進～

集計中

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備率



整備率 73.7%

(令和7年度末時点)

農地・農業用施設の活用



○○市町村

(令和〇年〇月時点)

集計中

流出抑制対策の実施



○○施設

(令和〇年〇月時点)

集計中

山地の保水機能向上・
土砂・流木対策



治山対策・森林整備
○○箇所
(令和〇年〇月時点)
砂防事業による保全箇所
○○施設
(令和〇年〇月時点)

集計中

立地適正化計画における
防災指針の作成



○○市町村

(令和〇年〇月時点)

集計中

水害情報の提供



洪水浸水想定

○○河川
(令和〇年〇月時点)

内水浸水想定

○○団体
(令和〇年〇月時点)

集計中

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保計画

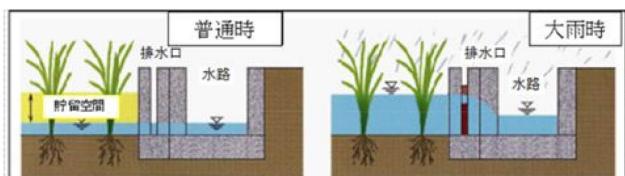
○○施設
(令和〇年〇月時点)

個別避難計画

○○市町村
(令和〇年〇月時点)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

[水田貯留施設(富山市婦中地区)]



水田の排水口に小さな穴のある堰板を設置し、大雨時に水田に降った雨を一時的に溜めることで流出量を抑制することにより、浸水被害の軽減を図る。

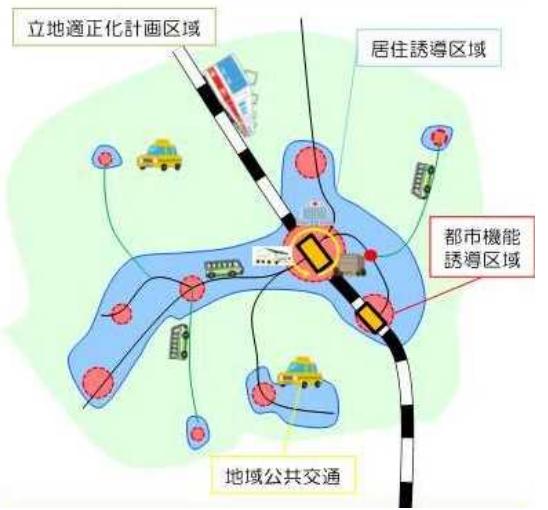
水田貯留は、神通川と井田川に挟まれた婦中地域で耕作者の皆様の協力を得て実施されている。

富山市では、この取り組みを継続・拡充するため、水田貯留に協力いただいた耕作者に対し、畦畔強化に必要な作業労務について助成を実施。

被害対象を減少させるための対策

[立地適正化計画における防災指針策定
(富山市)]

[イメージ]



立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組

富山市は、急流河川である常願寺川と神通川が流下している特性から、氾濫流は拡散するため居住誘導区域の多くが浸水想定エリアに含まれる。

今後も居住の誘導を図り、都市のコンパクト化を進めるためには、防災性の向上が必要。

- 17 -

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

[水防災教育出前講座(岐阜県河川課)]



[荒城川,丹生川ダム]

近年、頻発する洪水被害の状況や被害を防ぐための洪水対策を学ぶとともに、学校の横を流れる荒城川に建設された丹生川ダムを現地学習することで、ダムの役割や身近にある洪水対策を実感してもらおう。

庄川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～急流河川における堤防安全度向上と流域治水対策の推進～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、庄川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 庄川流域は、富山県の経済・社会の中心地域となっている反面、「我が国屈指の急流河川」であることから、洪水流のエネルギーが非常に大きく、中小洪水でも堤防が侵食し、決壊する危険がある。一度氾濫すると氾濫流は、拡散して広がり広範囲に被害がおよぶ等の水害リスクの高い地域である。
- このため、急流河川対策(護岸整備)、利賀ダムの整備、砂防、森林整備・治山対策、利水ダムによる事前放流の実施、雨水貯留施設整備、水田貯留、防災指針策定、洪水等リスクの現地表示やタイムラインといったツールによる水害リスクの周知等を実施する。
- これらの取り組みにより、国管理区間においては、戦後最大の平成16年洪水と同規模の洪水が発生しても家屋浸水を防止し、流域における浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

■氾濫ができるだけ防ぐ・減らすための対策

- 急流河川対策(護岸)、堤防整備、合流点処理、河道拡幅、護岸整備、河道掘削、樹木伐採、利賀ダム整備(建設中)、霞堤の保全
- 砂防関係施設の整備
- 森林整備、治山対策
- 利水ダム等17ダムにおける事前放流等の実施、体制構築(関係者:国、富山県、岐阜県、関西電力(株)、電源開発(株)等)
- 雨水貯留施設整備、下水道等の排水施設整備
- 農業用排水路・洪水調整池等の整備、水田貯留
- 各家庭等における雨水貯留施設整備への助成

■被害対象を減少させるための対策

- 立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取り組み(防災指針策定など)
- 多段階な浸水リスク情報の充実

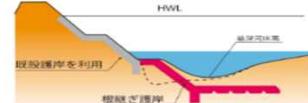
■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 洪水等リスクの現地表示、洪水ハザードマップの作成・配布
- 浸水実績の周知、避難訓練への住民参加の促進
- 水防災教育(出前講座の活用)
- マイタイムラインの作成及び普及、広域避難計画の検討
- 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び支援
- 災害情報普及支援、浸水被害軽減対策
- 土砂災害警戒区域等の指定・周知
- 水位計・監視カメラの活用・水害リスク空白域の解消

●グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ

急流河川対策

急流河川特有の洪水のエネルギーに対し堤防の安全性を確保する

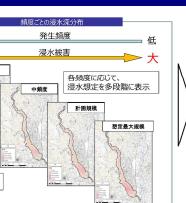


マイ・タイムラインの作成及び普及

[みんなでタイムラインプロジェクト] 富山河川国道、黒部河川、北陸技術事務所が合同で取組んでいる。



多段階な浸水リスク情報の充実

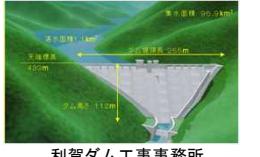


その他、富山県、岐阜県、高岡市、砺波市、白山村で普及のための取組みを実施

農業用排水路・洪水調整池等の整備



利賀ダムの整備



砂防関係施設の整備

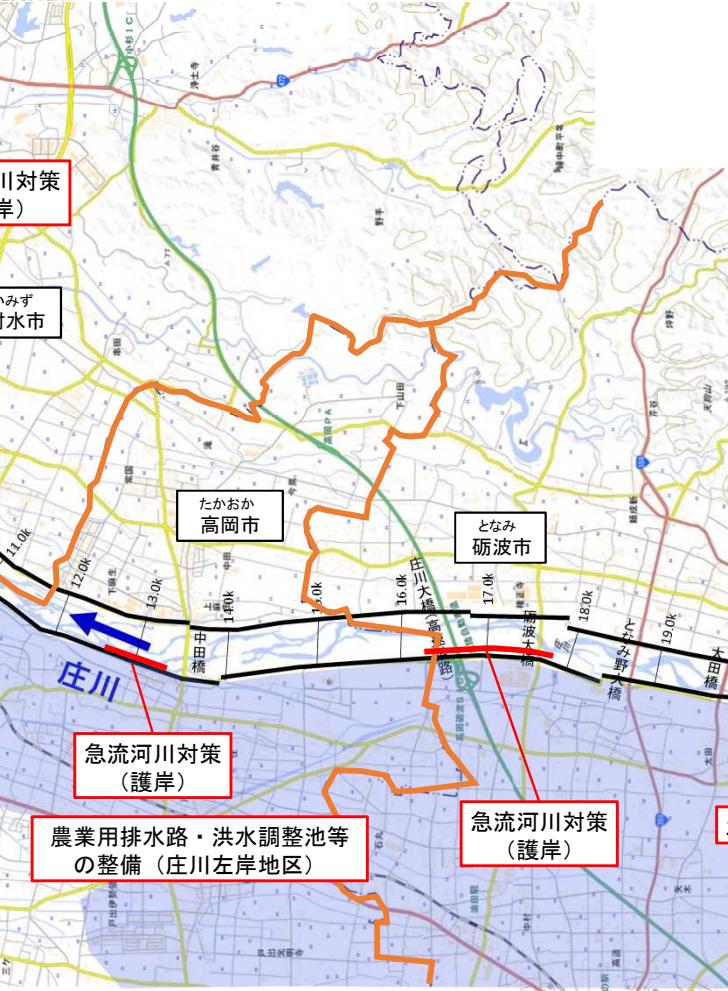
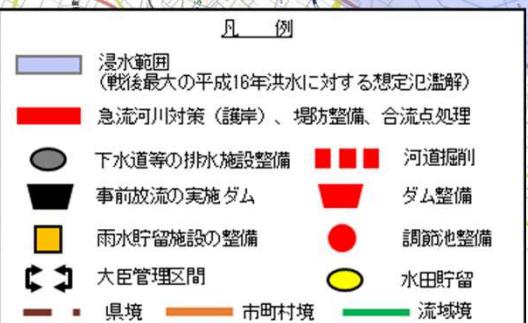


森林整備・治山対策



富山・岐阜水源林整備事務所、富山・飛騨森林管理署、富山県、岐阜県

庄川水系流域治水プロジェクト【富山県内詳細図】 ～急流河川における堤防安全度向上と流域治水対策の推進～



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある

庄川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～急流河川における堤防安全度向上と流域治水対策の推進～

庄川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】国管理区間における庄川左岸中流部及び左右岸下流部において、急流河川特有の流水の強大なエネルギーに対する堤防の安全を確保し、射水市、砺波市を守る急流河川対策を完成させる。

併せて、立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組、洪水ハザードマップの配布、マイ・タイムラインの作成及び支援、要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び支援などを実施する。

【中長期】国管理区間における庄川左岸中流部において、急流河川特有の流水の強大なエネルギーに対する堤防の安全を確保し、高岡市を守る急流河川対策を完成させる。利賀ダムの整備を完成させるとともに、合流点処理及び庄川右岸下流部において堤防整備を実施し、流域全体の安全度向上を図る。

【ロードマップ】

区分	対策内容	実施主体	工 程	
			短 期	中长 期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流水の強大なエネルギーに対する急流河川対策(護岸)	富山河川国道事務所		
	流下能力不足解消のための堤防整備、支川への影響を低減させるための合流点処理 利賀ダムの整備	富山河川国道事務所 利賀ダム工事事務所		
	流下能力不足解消のための堤防整備、河道拡幅、河道掘削、護岸整備	富山県、岐阜県		
	砂防関係施設の整備	富山県、岐阜県		
	森林整備、治山対策	富山及び飛騨森林管理署、 富山及び岐阜水源林整備事務所、 富山県、岐阜県		
	農業用排水路、洪水調整池等の整備	富山県		
	雨水貯留施設の整備、下水道等の排水施設の整備	高岡市、射水市		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)	富山市、高岡市	立地適正化計画への防災指針の記載と取組など	
	多段階な浸水リスク情報の充実	富山河川国道事務所		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	洪水ハザードマップの作成・配布 洪水等リスクの現地表示、水位計・監視カメラの活用	富山河川国道事務所、 富山県、岐阜県、富山市、高山市		
	マイ・タイムラインの作成及び普及 要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び普及 避難訓練への住民参加、水防災教育(出前講座の活用)	富山河川国道事務所、 富山県、岐阜県、富山市、高岡市、 射水市、砺波市、白川村、高山市		
グリーンインフラの取組	治水対策における多自然川づくり	富山河川国道事務所、 富山県、岐阜県		
	自然豊かな森林づくり	富山及び飛騨森林管理署、 富山及び岐阜水源林整備事務所、 富山県、岐阜県		
	自然環境が有する多様な機能活用の取組み	市町村等		

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

【事業規模】

■河川対策

全体事業費 約1,392億円

■下水道対策

全体事業費 約9億円

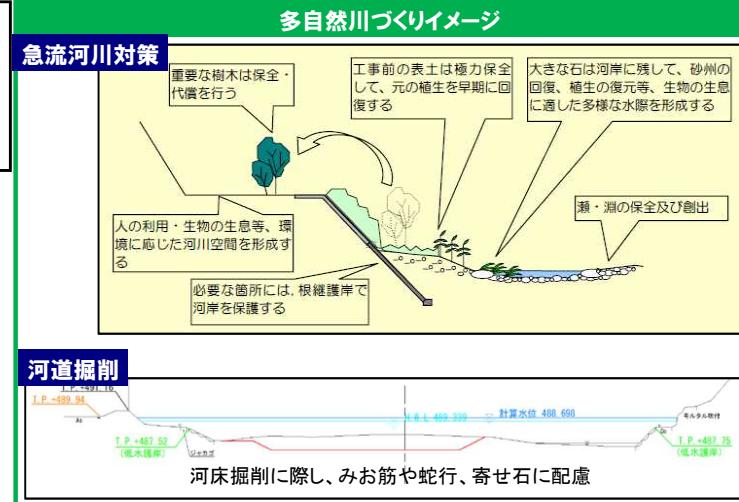
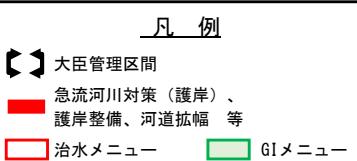
庄川水系流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】

～急流河川における堤防安全度向上と流域治水対策の推進～

●グリーンインフラの取り組み

『生物の生息・生育・繁殖環境などの多様な自然環境の保全・創出』

- 庄川は、扇状地上流部では巨石や露岩が卓越し、中流部では礫河原が広がる急流河川であり、先駆性の植物が生育するほかアユやウゲイなどの瀬を好む生物がみられる。下流部ではヨシなどが生育し、魚類の産卵場等となっているほか、池やワンドはトンボ類の生息地となっている。
- 河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境などの多様な自然環境の保全・創出を目指し、今後概ね20年間で多様な河川環境を保全・創出するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。



●治水対策における多自然川づくり

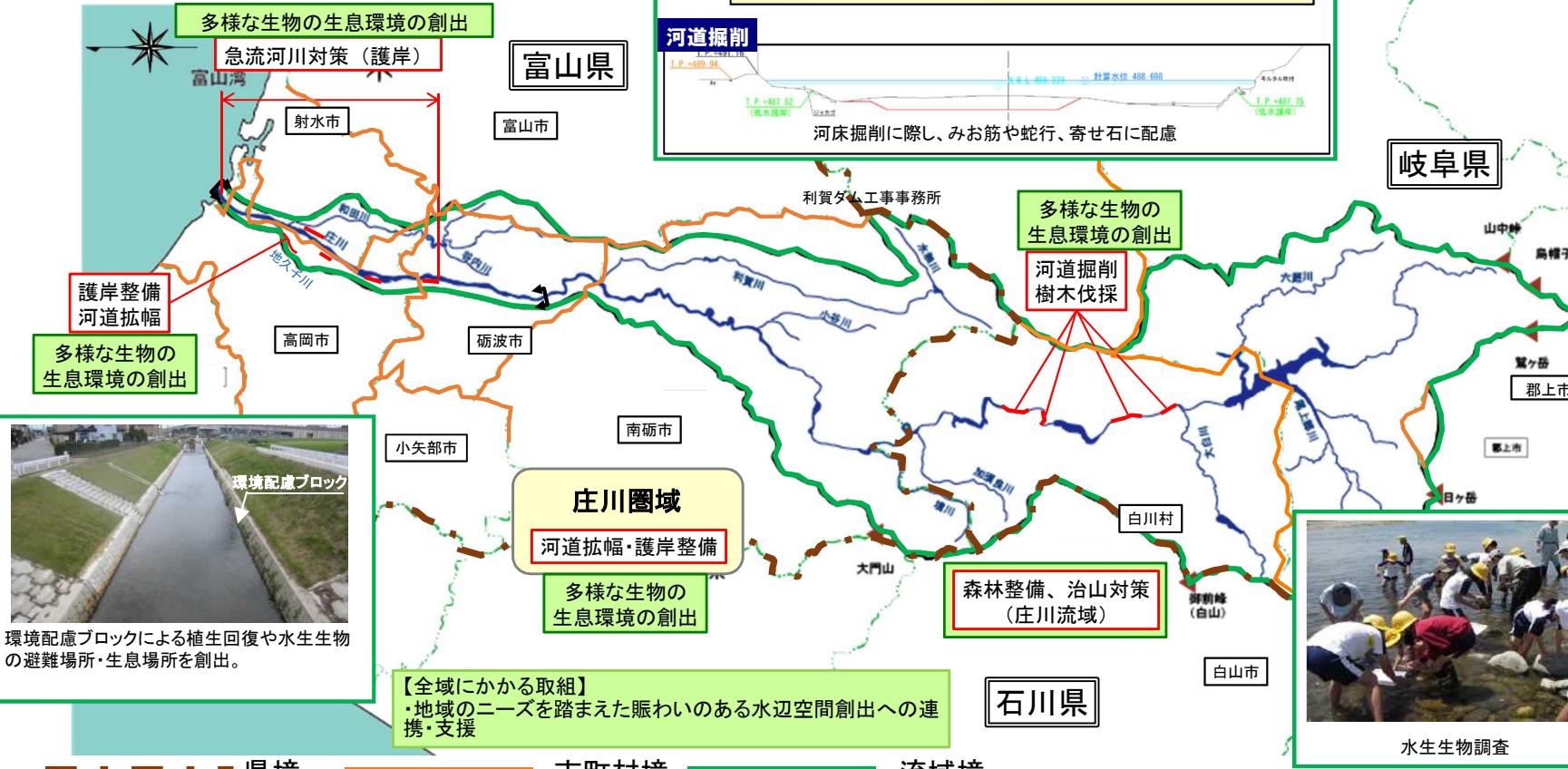
- 生物の多様な生育環境の保全・創出

●自然豊かな森林づくり

- 森林整備、治山対策

●自然環境が有する多様な機能活用の取組み

- 住民のニーズに応じた多様な利用空間の創造
- 小学校などにおける河川環境学習

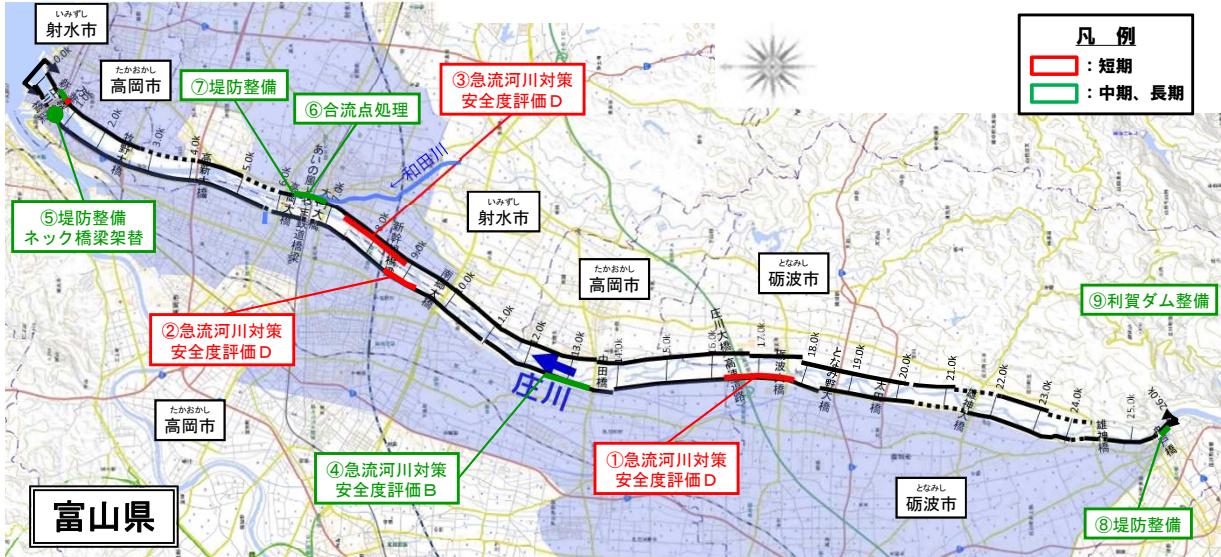


庄川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～急流河川における堤防安全度向上と流域治水対策の推進～

太田地区、上高岡地区、大門地区の急流河川対策が完了することで、堤防の侵食決壊による浸水被害を低減することが可能

短期整備(5か年加速化対策)効果：
河川整備率 約94%→約94%
質的整備率 約47%→約52%

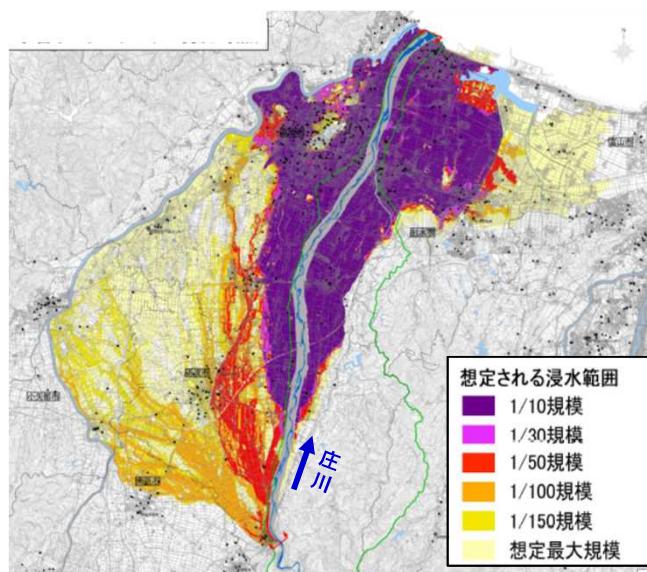


区分	本支川	対策内容	市町村	区間	工程			
					R3	短期 (R3~R7)	中期 (R8~R13)	長期 (R14~R19)
庄川	急流河川対策D	砺波市(太田)	①	100%				
		高岡市(上高岡)	②	100%				
		射水市(大門)	③	100%				
急流河川対策B 浸水リスク大	堤防整備 ネック橋梁架替	高岡市(戸出)	④			60%	100%	
		射水市(下高岡・新湊)	⑤	1%	関係機関協議			
合流点処理	堤防整備	射水市(大門)	⑥					
		射水市(大島)	⑦					
堤防整備	利賀ダム整備	砺波市(庄川)	⑧					
		南砺市(利賀村押場)	⑨			100%		

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

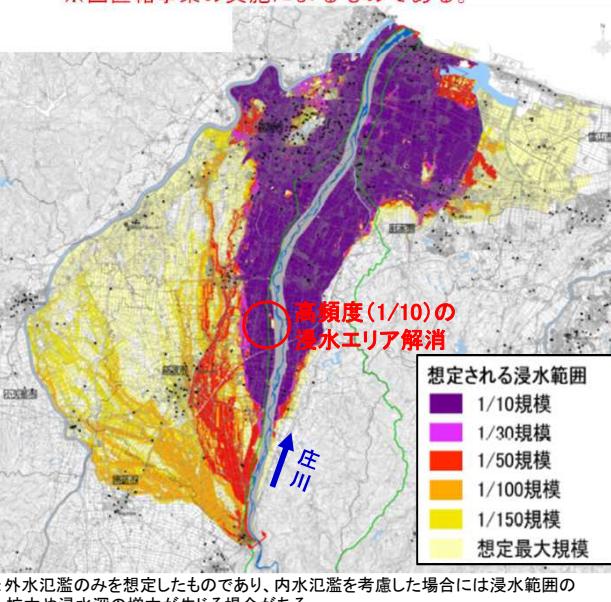
現況

※外水氾濫のみを想定したものである。



短期

※外水氾濫のみを想定したものである。
※国直轄事業の実施によるものである。



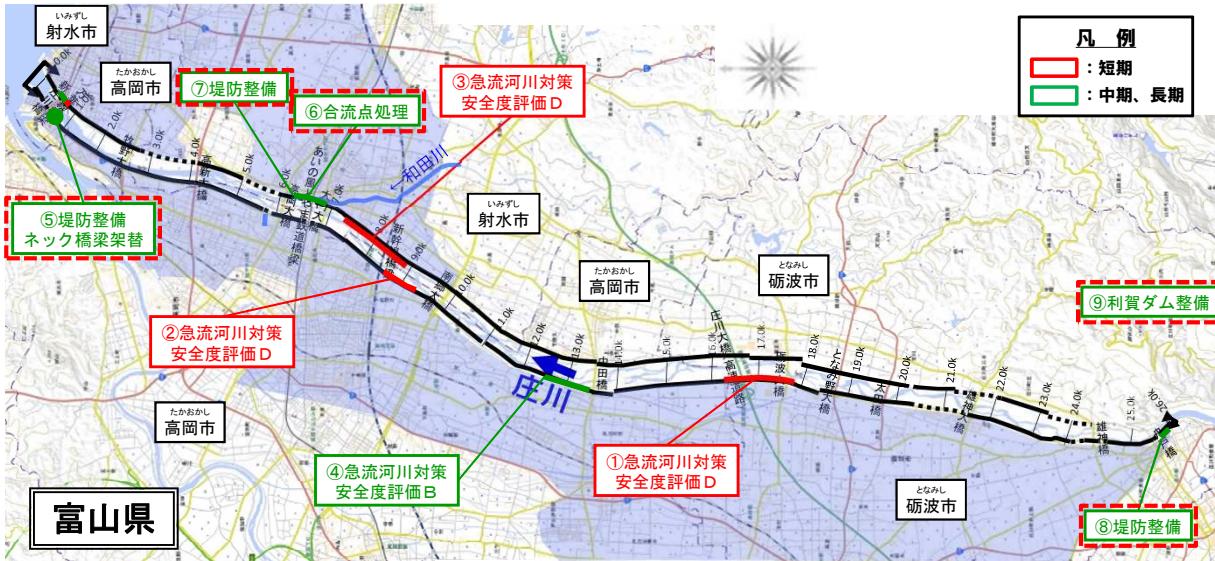
庄川水系流域治水プロジェクト【参考資料 量的整備のみの事業効果（国直轄区間）の見える化】

～急流河川における堤防安全度向上と流域治水対策の推進～

※量的整備とは、洪水時に河川の水を安全に流すため、堤防の嵩上げや河床を掘削するなどの整備である。

【量的整備】利賀ダム整備及び下高岡・新湊地区の堤防整備(ネック橋梁架替)の推進

短期整備(5か年加速化対策)効果：
河川整備率 約94%→約94%

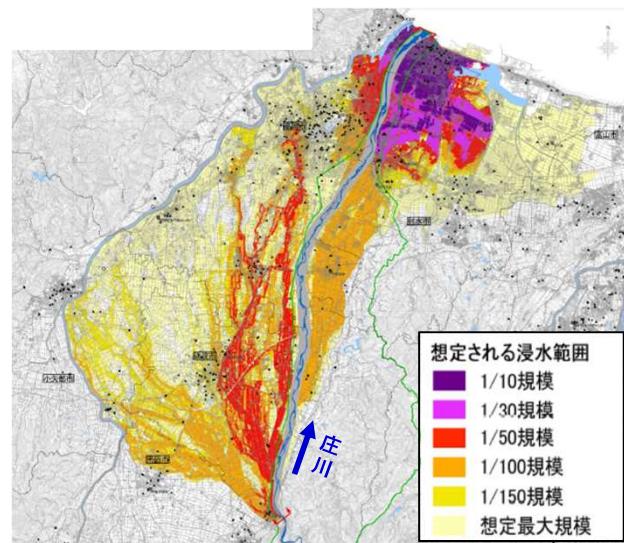


区分	本支川	対策内容	市町村	区間	工程			
					R3	短期 (R3~R7)	中期 (R8~R13)	長期 (R14~R19)
庄川	急流河川対策D	砺波市(太田)	①	100%				
		高岡市(上高岡)	②	100%				
		射水市(大門)	③	100%				
	急流河川対策B 浸水リスク大	高岡市(芦出)	④			60%	100%	
	堤防整備 ネック橋梁架替	射水市(下高岡・新湊)	⑤	1%	関係機関協議			
合流点処理	射水市(大門)	⑥						
	堤防整備	射水市(大島)	⑦					
利賀ダム整備	砺波市(庄川)	⑧						
	南砺市(利賀村押場)	⑨				100%		

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

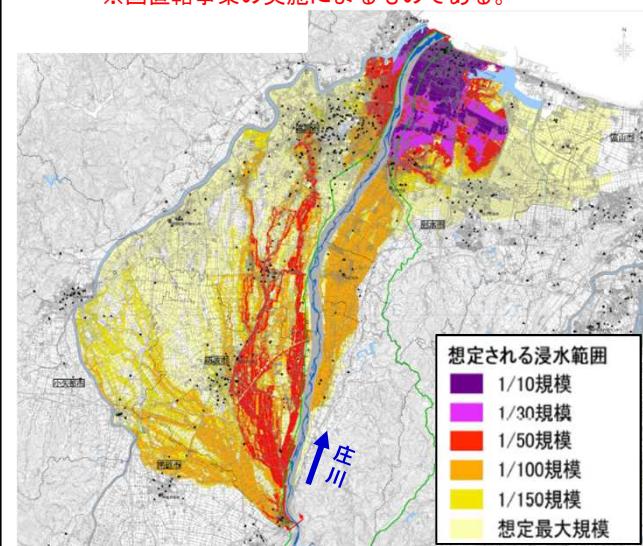
現況

※外水氾濫（流下能力のみ計算した結果）のみを想定したものである。



短期

※外水氾濫（流下能力のみ計算した結果）のみを想定したものである。
※国直轄事業の実施によるものである。



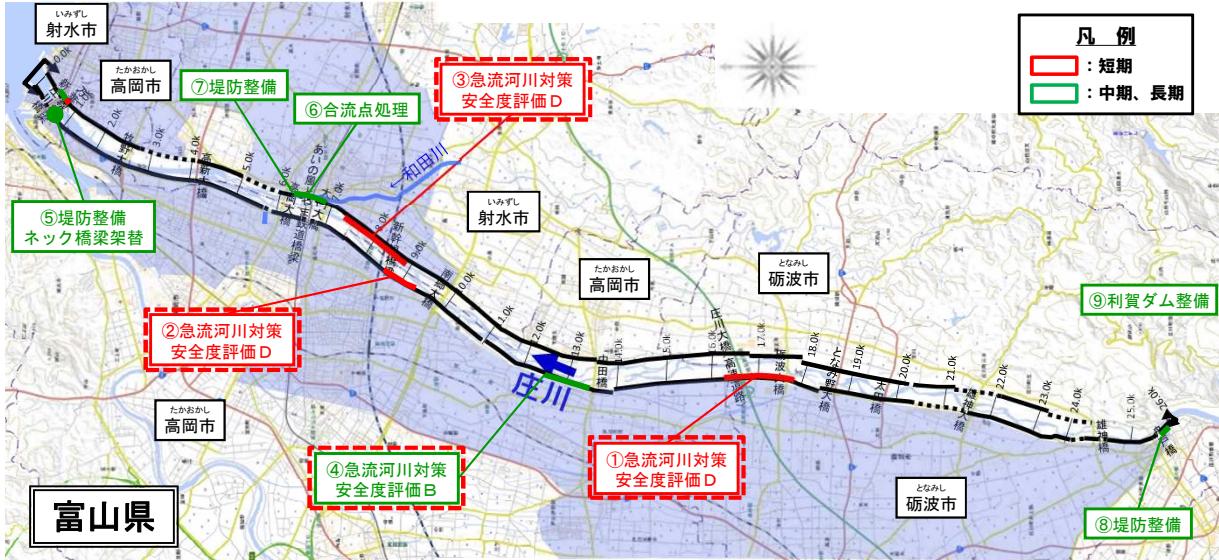
庄川水系流域治水プロジェクト【参考資料 質的整備のみの事業効果（国直轄区間）の見える化】

～急流河川における堤防安全度向上と流域治水対策の推進～

※質的整備とは、浸透や侵食から堤防を守るため、堤防自身を強化するための整備のことである。

【質的整備】太田地区、上高岡地区、大門地区の急流河川対策が完了することで、堤防の侵食決壊による浸水被害を低減することが可能

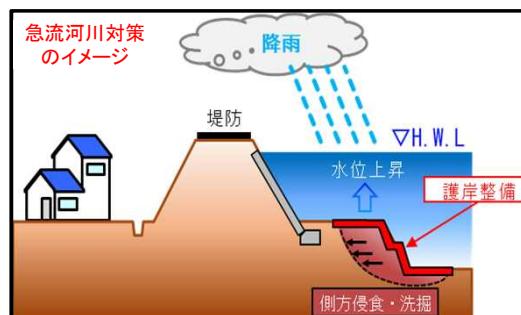
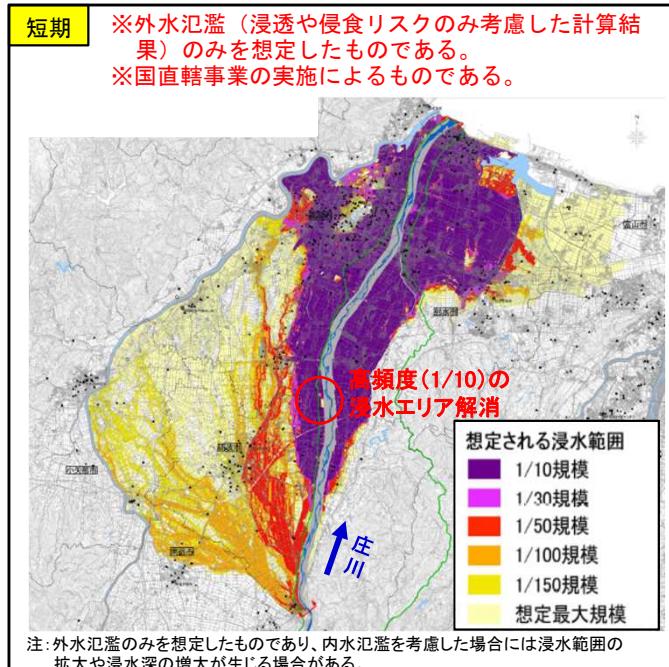
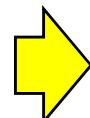
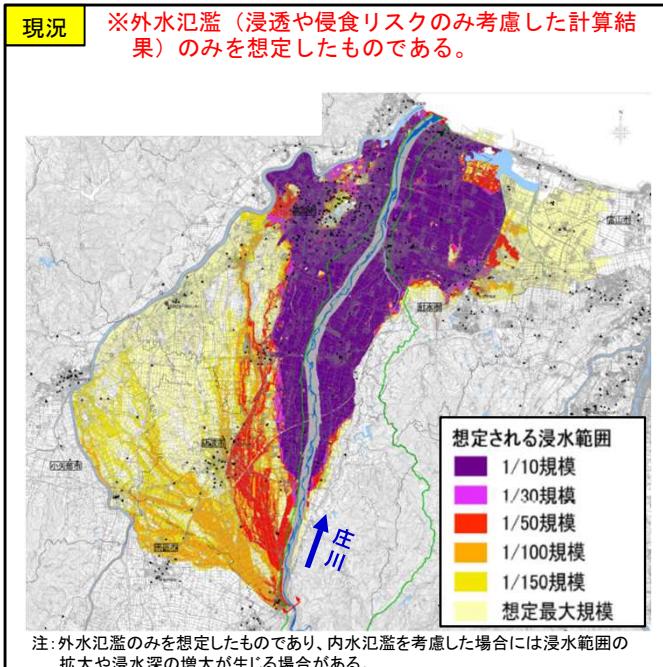
短期整備(5か年加速化対策)効果：
質的整備率 約47%→約52%



凡例
■ 短期
■ 中期、長期

区分	本支川	対策内容	市町村	区間	工程			
					R3	短期 (R3~R7)	中期 (R8~R13)	長期 (R14~R19)
庄川	急流河川対策D	砺波市(太田)	①	100%				
		高岡市(上高岡)	②	100%				
		射水市(大門)	③	100%				
	急流河川対策B 浸水リスク大	高岡市(戸出)	④			60%	100%	
	堤防整備 ネック橋梁架替	射水市(下高岡・新湊)	⑤	1%	関係機関協議			
	合流点処理	射水市(大門)	⑥					
堤防整備	射水市(大島)	⑦						
	砺波市(庄川)	⑧						
利賀ダム整備	南砺市(利賀村押場)	⑨				100%		

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。



庄川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～急流河川における堤防安全度向上と流域治水対策の推進～



氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

**[農業用排水路、洪水調整池等の整備
(富山県農村整備課)]**

事業実施前



水路から溢水し農地等湛水

事業実施後



水路の改修(大断面化)

狐島調整池(整備済)の例



調整池へ

洪水調整池への流入(下流域溢水被害の未然防止)

農業用排水路等の改修により、近年の都市化の進展等に伴う排水の流出形態の変化に起因する溢水被害を防止し、農地の保全、農業生産性の維持や農業経営の安定と併せて災害に強い農村づくりを推進。

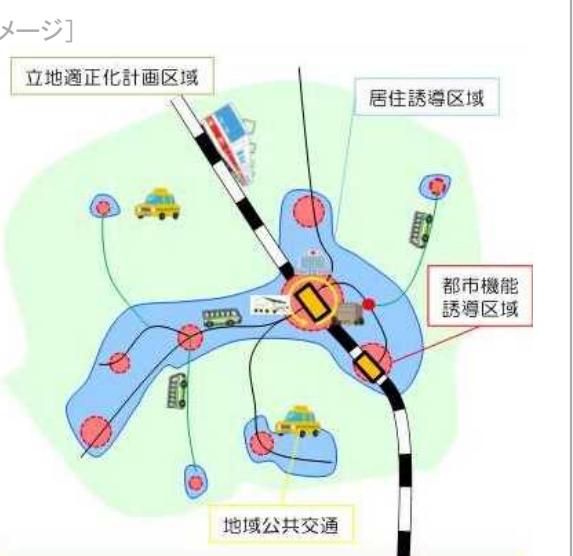
【事業概要】

- ・関係市町：高岡市、砺波市、小矢部市、南砺市

被害対象を減少させるための対策

**[立地適正化計画における防災指針策定
(高岡市)]**

[イメージ]



立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組

【防災指針策定の概要】

立地適正化計画においては、災害リスクを踏まえた課題を抽出し、都市の防災に関する機能の確保のため「防災指針」を定めるとともに、この方針に基づく具体的な取組を位置付ける。

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

**[まるごとまちごとハザードマップ整備
(高岡市)]**

水防災教育出前講座



浸水深標識の設置

実際の高さ 

人の目線 

想定浸水深 

Flood Water Depth (Projected)
この場所は庄川が氾濫すると
3.0m浸水する可能性があります

高岡市 / Takaoka City

現地調査状況

日常時から住民の水防災への意識を高めるとともに、発災時には住民の主体的な避難行動を促すため、住民や電柱管理者等と協力し、住民が目にしやすい場所にある電柱や指定緊急避難場所に浸水深の標識を設置。

小矢部川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～本川・支川一体となった浸水被害解消のための流域治水対策の推進～

- ・令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、小矢部川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
 - ・小矢部川流域は、富山県の経済・社会の中心地域となっている反面、庄川扇状地の末端に位置していることから、氾濫流は拡散しないものの流下型の氾濫形態であると共に、庄川の氾濫域と重複するため、氾濫が発生すると湛水時間が長期化する等の水害リスクの高い地域である。
 - ・このため、浸透対策、堤防整備、護岸整備、砂防、森林整備・治山対策、利水ダムによる事前放流の実施、雨水貯留施設整備、水田貯留、防災指針策定、ハザードマップの周知やタイムラインといったツールによる水害リスクの周知等を実施する。
 - ・これらの取り組みにより、国管理区間においては、戦後最大の平成10年洪水と同規模の洪水が発生しても家屋浸水を防止し、流域における浸水被害の軽減を図る。



■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・堤防強化(浸透対策)、堤防整備、河道掘削、合流点処理、護岸整備、河道拡幅、霞堤の保全
 - ・砂防関係施設の整備
 - ・森林整備、治山対策
 - ・利水ダム等6ダムにおける事前放流等の実施、体制構築(関係者:国、富山県等)
 - ・雨水貯留施設の整備、下水道等の排水施設の整備
 - ・農業用排水路・洪水調節池等の整備、水田貯留
 - ・各家庭等における雨水貯留施設整備への助成

■被害対象を減少させるための対策

- ・立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取り組み（防災指針策定など）
 - ・多段階な浸水リスク情報の充実

●グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ



砂防関係施設の整備



富山县



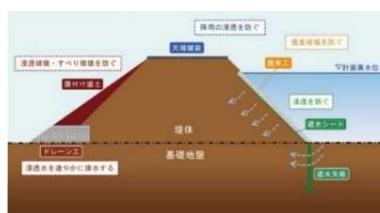
森林整備・治山対策



富山・岐阜水源林整備事務所
富山・飛騨森林管理署、富山県

浸透対策イメージ

浸透に対して安全性が確保されない堤防において、堤防の質的整備として浸透対策を実施。



水防災教育(出前講座の活用)



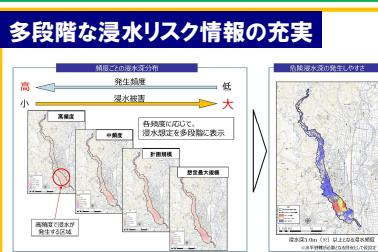
宣山江川同道書教子·高國本·少午郎本·高研本



マイ・タイムラインの作成及び普及

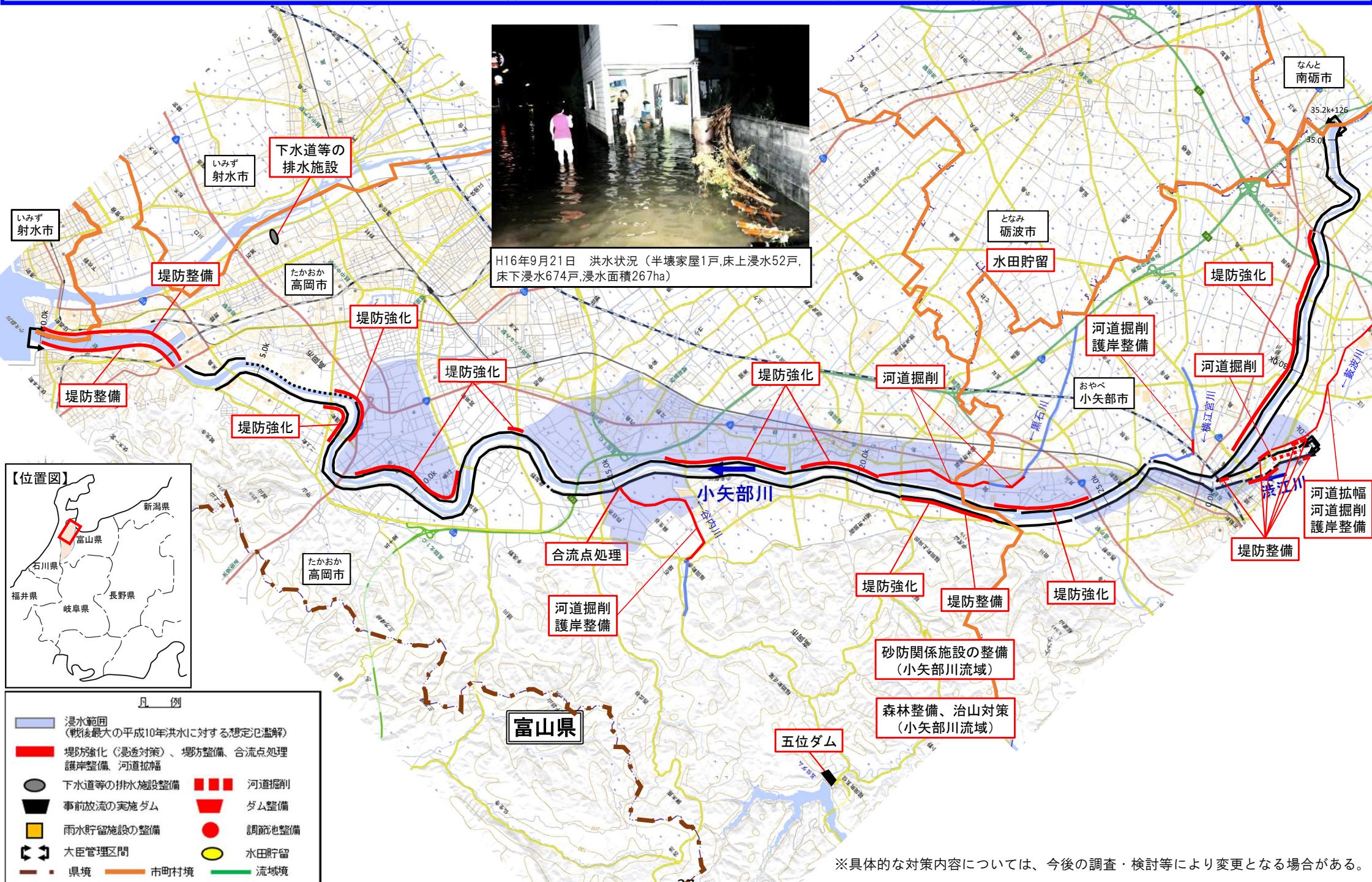


その他、富山県、高岡市、砺波市で普及のための取組みを実施



多段階な湯水川 fork 情報の充実

小矢部川水系流域治水プロジェクト【詳細図】 ～本川・支川一体となった浸水被害解消のための流域治水対策の推進～



小矢部川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～本川・支川一体となった浸水被害解消のための流域治水対策の推進～

小矢部川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短 期】国管理区間における小矢部川右岸中下流部において堤防の浸透対策を完成させ、洪水時の堤防決壊から高岡市を守る対策を実施する。

併せて、立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組、洪水ハザードマップの配布、マイ・タイムラインの作成及び支援、要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び支援などを実施する。

【中長期】小矢部川左岸中流部等において高岡市を守る堤防の浸透対策を完成させるとともに、河口部の流下能力不足解消のための堤防整備を実施する。

また、小矢部川左岸下流部において洪水時の堤防による堤防の決壊から高岡市を守る対策や合流点処理を実施し、流域全体の安全度向上を図る。

【ロードマップ】

区分	対策内容	実施主体	工 程	
			短 期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防強化を図るための浸透対策	富山河川国道事務所		
	流下能力不足解消のための堤防整備 支川への影響を低減させるための合流点処理	富山河川国道事務所		
	流下能力不足解消のための河道拡幅、河道掘削、護岸整備	富山県		
	砂防関係施設の整備	富山県		
	森林整備、治山対策	富山森林管理署、富山水源林整備事務所、富山県		
	農業用排水路、洪水調整池等の整備	富山県		
	雨水貯留施設の整備、下水道等の排水施設の整備	高岡市、射水市、砺波市		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)	高岡市、小矢部市	立地適正化計画への防災指針の記載と取組など	
	多段階な浸水リスク情報の充実	富山河川国道事務所		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	洪水ハザードマップの配布 水位計・監視カメラの活用	富山河川国道事務所、富山県、小矢部市		
	マイ・タイムラインの作成及び普及 要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び普及 避難訓練への住民参加、水防災教育(出前講座の活用)	富山河川国道事務所、富山県、高岡市、射水市、砺波市、小矢部市、南砺市		
グリーンインフラの取組	治水対策における多自然川づくり	富山河川国道事務所、富山県		
	自然豊かな森林づくり	富山森林管理署、富山水源林整備事務所、富山県		
	自然環境が有する多様な機能活用の取組み	市町村等		

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

【事業規模】

■河川対策

全体事業費 約177億円

■下水道対策

全体事業費 約2億円

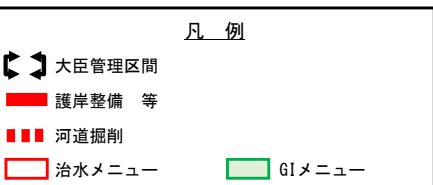
小矢部川水系流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】

～本川・支川一体となった浸水被害解消のための流域治水対策の推進～

●グリーンインフラの取り組み

『多様な動植物の生息・生育・繁殖環境の保全・創出』

- 小矢部川は、砺波平野の用水、支川を集めながら、平野部を蛇行して流れる緩流河川である。このため、河川の景観を劇的に変えるような攪乱は少なく、支川や本川の水際部などではノダイオウ、ササバモ、クロモ、ミクリ、ナガエミクリといった水生及び湿生植物が多く確認され、河川堤防上ではウマノスズクサが群生し、それを食草とするジャコウアゲハの幼虫も確認されている。
- 多様な動植物の生息・生育・繁殖環境を保全・創出するなど良好な河川環境を目指し、今後概ね20年間で多様な河川環境を創出するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。



●治水対策における多自然川づくり

- 生物の多様な生育環境の保全・創出

●自然豊かな森林づくり

- 森林整備、治山対策

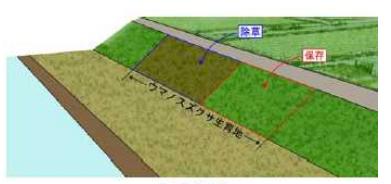
●自然環境が有する多様な機能活用の取組み

- 住民のニーズ等に応じた多様な利用空間の創造
- 小学校などにおける河川環境学習

多自然川づくりのイメージ

△H WL 生物の生息・生育・繁殖環境を保全・創出

ウマノスズクサの生育に配慮した堤防除草

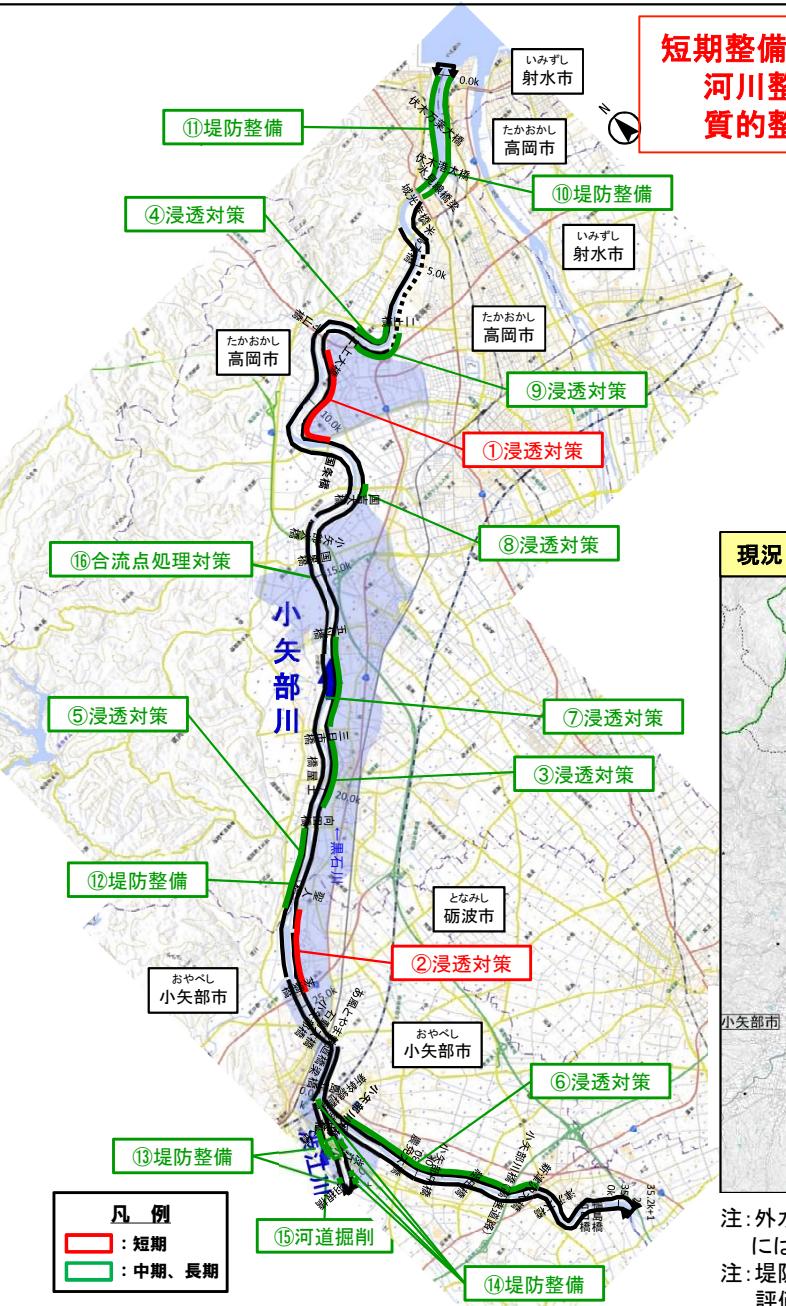


※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

小矢部川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～本川・支川一体となった浸水被害解消のための流域治水対策の推進～

長江地区、福町地区の堤防強化（浸透対策）が完了することで、堤防の浸透破壊による浸水被害を軽減することが期待できる

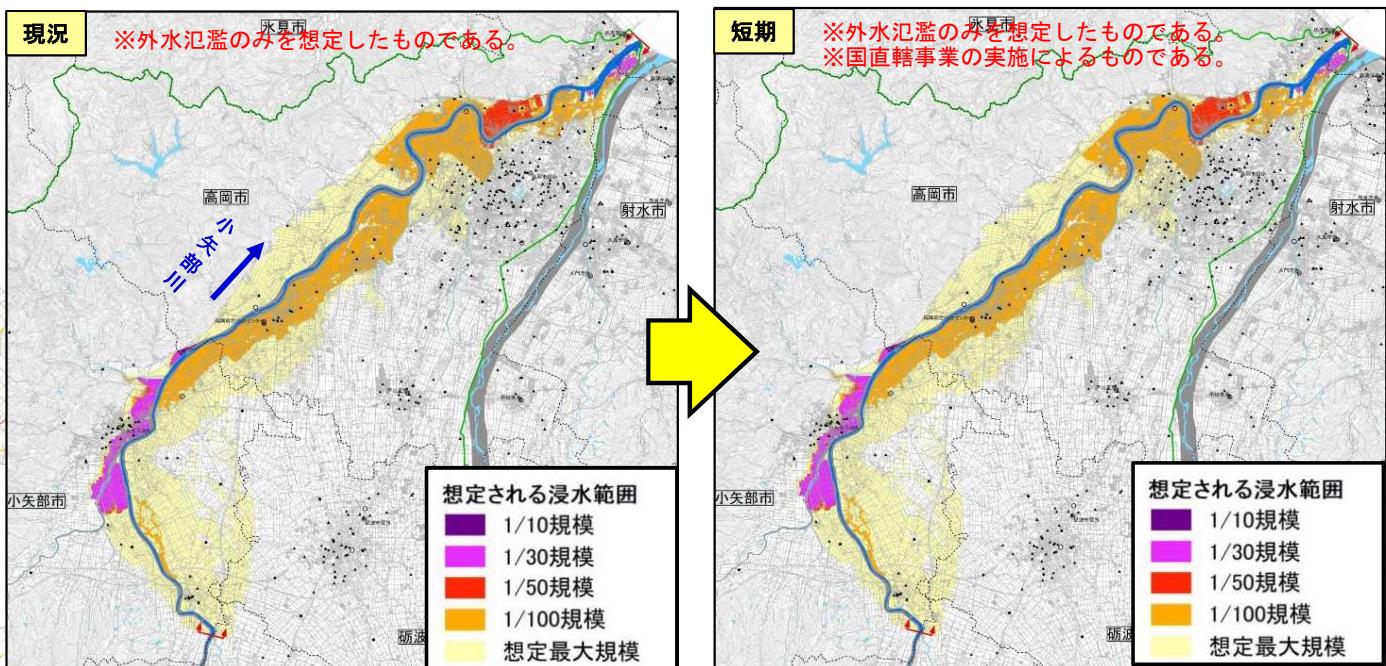


短期整備(5か年加速化対策)効果
河川整備率 約92.5%→約92.5%
質的整備率 約36.7%→約40.0%

区分	本支川	対策内容	市町村	区間	工 程		
					短期(R3~R7)	中期(R8~R12)	長期(R13~R26)
浸透対策	小矢部川	高岡市 (長江)裏・バ	①	100%			
		小矢部市 (福町)裏・バ	②	100%			
		高岡市 (福町)表・バ	③		100%		
		高岡市 (新田)裏・バ	④		100%		
		高岡市 (三日市)裏	⑤			100%	
		小矢部市 (島・津沢)バ	⑥			100%	
		高岡市 (高田島)裏 ※背割堤	⑦				100%
		高岡市 (北島)裏 ※背割堤	⑧				100%
		高岡市 (向野)裏	⑨				100%
		高岡市 (青久・右岸)	⑩			100%	
堤防整備	小矢部川	高岡市 (木木・左岸)	⑪				
		高岡市 (三日市)	⑫				
		小矢部市 (綾子・左岸) 浅江川	⑬				
		小矢部市 (綾子・右岸) 浅江川	⑭				
河道掘削	小矢部川	小矢部市 (綾子) 浅江川	⑮				100%
		高岡市 (四日市)	⑯				100%
く・氾濫をさけるだけ防 護・滞らすための対応 策							

裏:裏法すべり
表:表法すべり
バ:バイピング

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。



注:外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深さの増加が生じる場合がある。

注:堤防の質的(浸透や侵食・洗堀などの対策)な評価を実施中であり、評価後に多段階浸水想定区域図を修正し、更新する予定である。

注:外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深さの増加が生じる場合がある。

注:堤防の質的(浸透や侵食・洗堀などの対策)な評価を実施中であり、評価後に多段階浸水想定区域図を修正し、更新する予定である。

小矢部川水系流域治水プロジェクト【参考資料 量的整備のみの事業効果（国直轄区間）の見える化】

～本川・支川一体となった浸水被害解消のための流域治水対策の推進～

※量的整備とは、洪水時に河川の水を安全に流すため、堤防の嵩上げや河床を掘削するなどの整備である。

【質的整備】長江地区、福町地区の堤防強化(浸透対策)が完了することで、堤防の浸透破壊による浸水被害を軽減することが期待できる

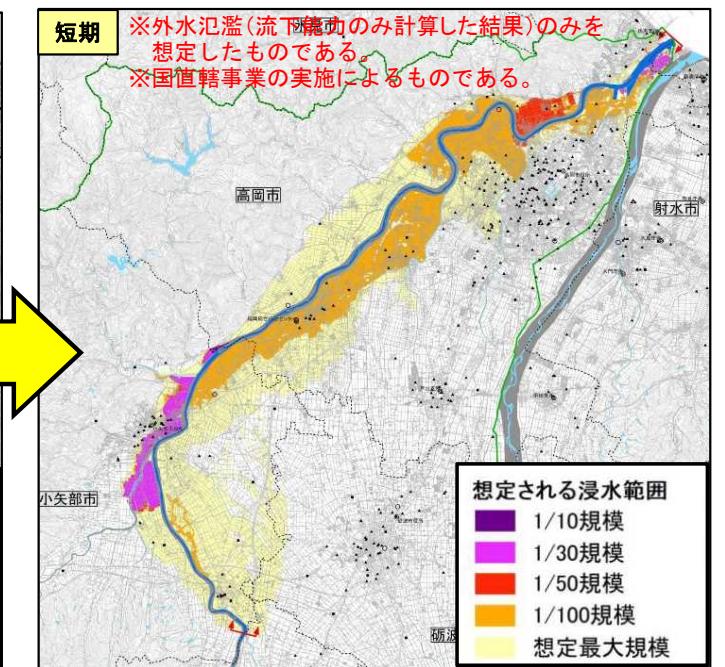
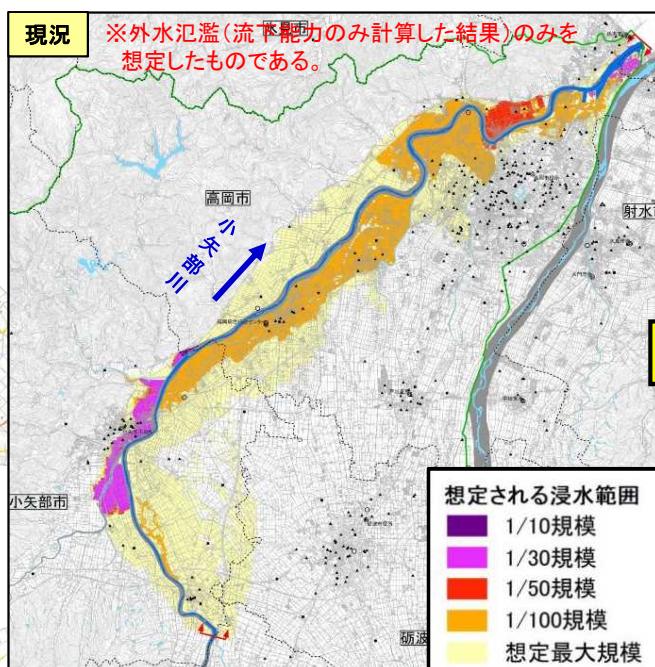
**短期整備(5か年加速化対策)効果
河川整備率 約92.5%→約92.5%**



区分	本支川	対策内容	市町村	区間	工程		
					短期(R3~R7)	中期(R8~R12)	長期(R13~R26)
浸透対策	小矢部川	(高岡市)(島)裏・バ	①	100%			
		小矢部(福町)裏・バ	②	100%			
		(高岡市)バ	③		100%		
		(高岡市)(新田)裏・バ	④		100%		
		(高岡市)(三日市)裏	⑤			100%	
		小矢部市(島津川)バ	⑥			100%	
		(高岡市)(高岡島)裏 ※背割堤	⑦				100%
		(高岡市)(北島)裏 ※背割堤	⑧				100%
		高岡市(西岸)	⑨				100%
		高岡市(吉久・右岸)	⑩			100%	
堤防整備	小矢部川	高岡市(伏木・左岸)	⑪				100%
		(高岡市)(三日市)	⑫				100%
		小矢部市(緑子左岸) 洪江川	⑬				100%
		小矢部市(緑子右岸) 洪江川	⑭				100%
		小矢部市(緑子) 洪江川	⑮				100%
合流点処理	高岡市	高岡市(四日市)	⑯				100%
							100%

表:裏法すべり
表:表法すべり
バ:バイキング

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。



注:外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深さの増加が生じる場合がある。

注:堤防の質的(浸透や侵食・洗堀などの対策)な評価を実施中であり、評価後に多段階浸水想定区域図を修正し、更新する予定である。

注:外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深さの増加が生じる場合がある。

注:堤防の質的(浸透や侵食・洗堀などの対策)な評価を実施中であり、評価後に多段階浸水想定区域図を修正し、更新する予定である。

小矢部川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～本川・支川一体となった浸水被害解消のための流域治水対策の推進～



氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

[雨水貯留施設の整備(砺波市)] 【豊町公園調整池】



流入分水桿

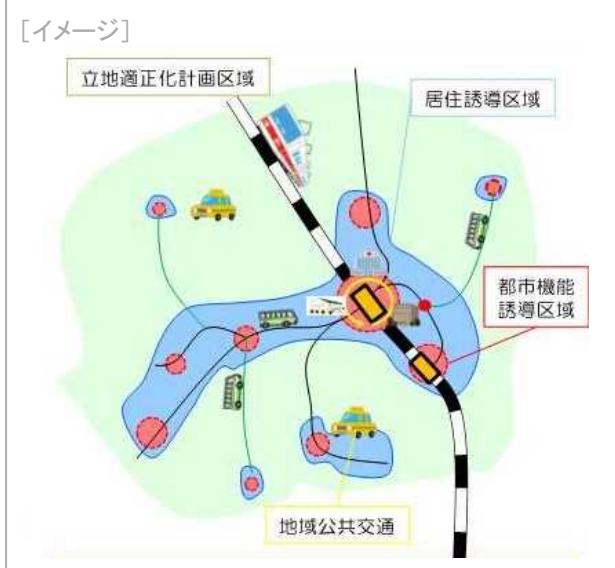


小矢部川流域下水道関連砺波公共下水道事業計画

砺波市街地の溢水対策として、バイパス管や調整池の整備を行い、雨水の河川等への流出抑制対策に取り組む

被害対象を減少させるための対策

[立地適正化計画における防災指針策定 (小矢部市)]



立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組

R3. 3に持続可能な都市づくりに向けて各施策の取組み強化や更なる推進をするため、計画の見直しを実施したが、今後防災の観点を取り入れたまちづくりを加速化させるため、「防災指針」の策定に向けて検討を行っていく。

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

[地域住民等を対象とした講座 (小矢部市・高岡市)]



水防災教育出前講座(小矢部市)

ハザードマップの見方や使い方、水害に対する備え等に関して講座を実施



マイ・タイムラインを活用した防災教育(高岡市)
“高岡版マイ・タイムライン”を作成し、家庭・地域・学校等におけるマイタイムラインの利用促進に取り組んでいる